



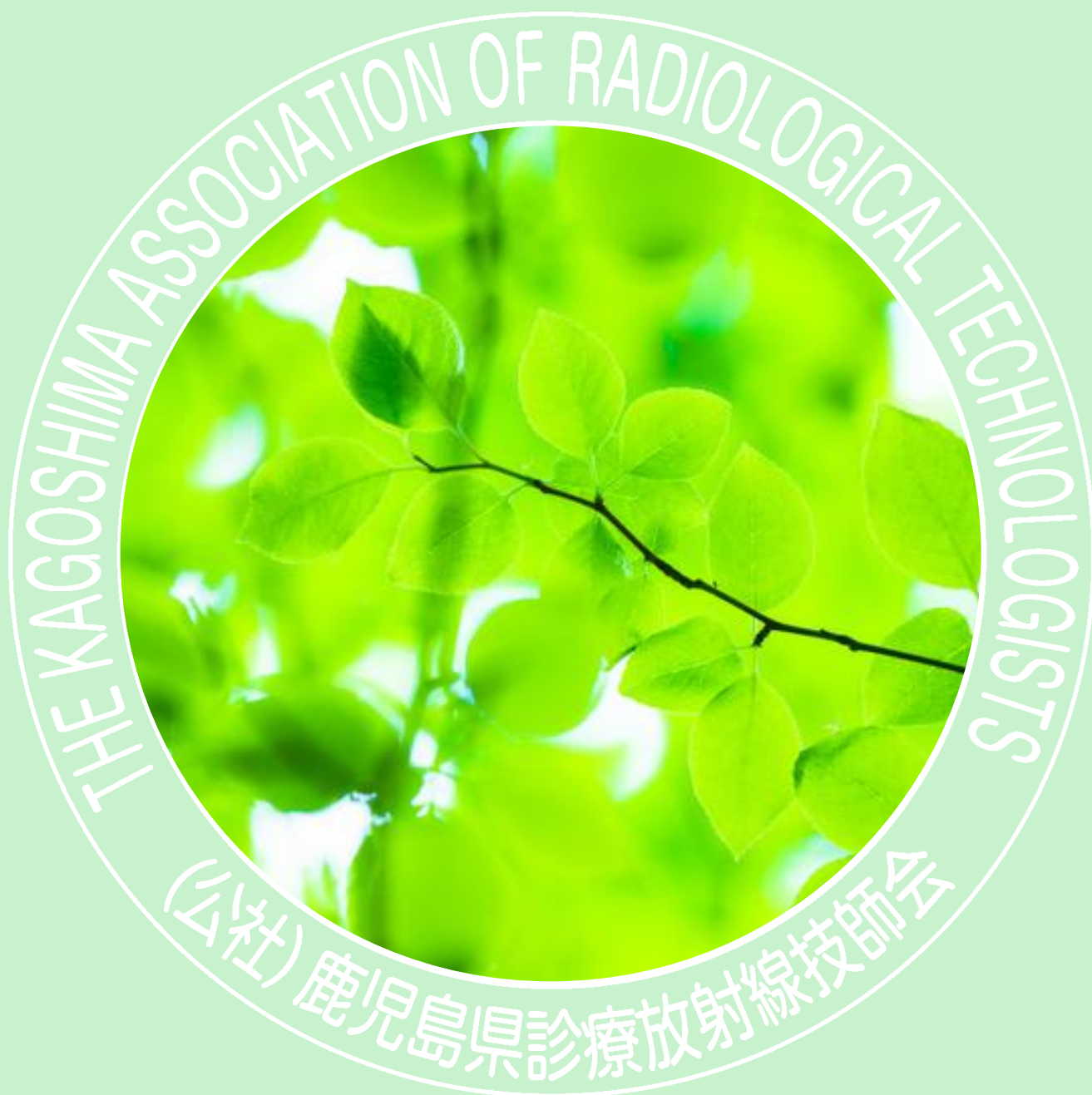
公益社団法人

鹿児島県診療放射線技師会

会 報

令和7年5月

第142号



公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会

鹿児島市東坂元4丁目28-11

TEL 099-248-0028

第20回 2025 The Annual Meeting of the
Kyushu Radiological Medical Technology

九州放射線医療技術学術大会 in鹿児島

テーマ
Strategy

～次世代医療に活かされる放射線技術学～

第71回 九州放射線技師学術大会
第74回 公益社団法人日本放射線技術学会九州支部学術大会

会 期：2025年11月1日(土)・2日(日)

会 場：カクイックス交流センター
(かごしま県民交流センター)

主 催：九州地域放射線技師会／公益社団法人日本放射線技術学会九州支部／公益社団法人日本診療放射線技師会

事 務 局：〒892-0838 鹿児島県鹿児島市新屋敷町26-13 相良病院・さがらバース通りクリニック 放射線技術部

E-mail:krmt2025.kagoshima@gmail.com

大 会 長 太田原 美郎(明輝会クリニック)
実行委員長 豊田 雅彦(鹿児島大学病院)



in KAGOSHIMA

鹿児島県診療放射線技師会 会報 第142号 目次

【巻頭言】	鹿児島県診療放射線技師会 副会長 大迫 俊一	2
【会告】	第104回定時総会について	3
【告示】	鹿児島県診療放射線技師会令和7年、8年度役員選挙・告示	6
【案内】	第104回定時総会・学術大会のご案内	9
【お知らせ】	会員情報変更について	11
	会計日より	12
【報告】	第60回鹿児島CT研究会 開催報告	13
	令和6年度 第3回告示研修 開催報告	14
	令和6年度 大島地域研修会 開催報告	15
	令和6年度 霧島始良地域研修会 開催報告	16
	鹿児島県原子力防災訓練 参加報告	18
	第77回 鹿児島消化器画像・第27回鹿児島超音波研究会 開催報告	20
	令和6年度 鹿児島さくらRT研修会 開催報告	22
	令和6年度 鹿児島県医療画像情報精度管理士部会 開催報告	24
	令和6年度 第45回南薩地域研修会 開催報告	26
	令和6年度 放射線機器管理士部会研修会 開催報告	28
	第29回 鹿児島MRI研究会 開催報告	30
	令和6年度 鹿児島地域研修会(学術賞授賞講演) 開催報告	31
【議事録】	令和6年度 第4回理事会 議事録(抄)	33
【行事・活動予定】		40
【鹿児島県診療放射線技師会 役員名簿】		41
【企業広告】		42
【総会資料】	第104回 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 定時総会資料	49

《巻頭言》

鹿児島県診療放射線技師会 副会長

大迫 俊一

新年度を迎え、鹿児島県診療放射線技師会の活動も新たな一步を踏み出します。会員の皆様には、日頃より公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会の事業運営にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

近年、医療技術の進歩は加速度的に進み、診療放射線技師の役割はますます重要になっています。AI技術の導入や高度な画像診断技術の発展、放射線被ばくの低減と最適化、さらにはチーム医療の強化など、私たちが向き合う課題は多岐にわたります。こうした変化を前向きに捉え、技術と知識の向上を図ることで、県民の皆様の健康福祉の維持・発展に貢献できると考えます。

そのような中、本年度より「鹿児島県AI研究会」が発足します。2024年12月には、プレ研究会として「鹿児島AI研究会 特別講演」を開催しました。本研究会の代表世話人である学校法人原田学園の平原先生より、「放射線技師のための生成AI活用講座: ChatGPTから始まったLLMの可能性」と題して、実践的な内容をご講義いただきました。参加者からは「非常に参考になった」との声が多く寄せられました。今後開催される研究会では、機械学習の基礎から学ぶ入門編、AI技術を用いた実践的な内容、さらには外部講師による講演など、充実したプログラムを予定しております。ぜひご参加ください。

また、本年度は、ここ鹿児島の地で「第20回九州放射線医療技術学術大会 in 鹿児島」を令和7年11月1日（土）、2日（日）の日程で開催いたします。会場はカクイックス交流センター（かごしま県民交流センター）で、「Strategy ～次世代医療に活かされる放射線技術学～」をテーマに掲げます。今回は、医療DX、AI、サイバーセキュリティなど、テーマに沿った多彩な内容を取り入れており、参加者の皆様にとって、診療放射線技師としてのさらなる成長と専門性向上につながる貴重な機会となるよう準備を進めてまいります。演題登録ならびにご参加をお待ちしております。

最後に、新しい年度が皆様にとって健康で幸せあふれる一年となりますよう、心より願っております。本会も引き続き、皆様と共に成長しながら、より良い活動を目指して励んでまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

会 告

第 104 回定時総会について

表記について、下記のとおり定時総会を開催します。

議題は令和 6 年度の事業報告及び決算報告、令和 7 年度の事業計画及び予算計画、役員選挙です。会場と Web を用いた併用開催で実施します。尚、Web 参加をされる会員・欠席される会員については、本会定款 30 条による書面議決権の行使による議案の賛否を問う形で実施致します。ご多忙と存じますが万障繰り合わせの上、ご出席または Web 配信の視聴くださいますようよろしくお願いいたします。

また、どうしても参加できない場合や Web 配信の視聴される場合でも、必ず **電子投票 または はがき（議決権執行書・委任状）** を提出していただきますよう、お願い申し上げます。

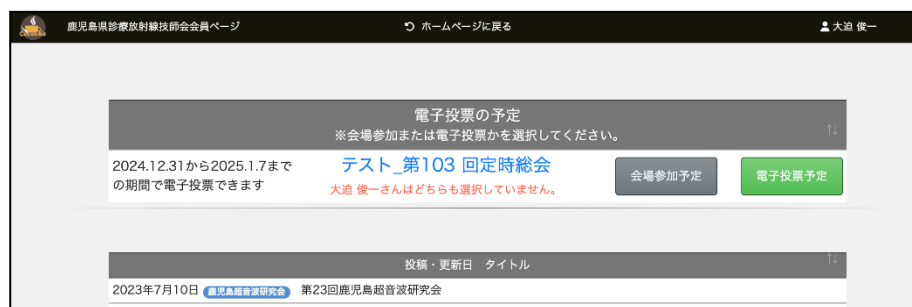
日 時 : 令和 7 年 6 月 8 日 (日) 10:30~12:00
会 場 : 鹿児島市立病院 1 階 多目的ホール Web 併用開催
議 題 : 令和 6 年度の事業報告及び決算報告
令和 7 年度の事業計画及び予算計画
役員選挙
その他

*** 都合がつかずに欠席する場合や Web 配信の視聴される場合は、別途送られてくる はがき（議決権執行書・委任状）から電子投票または記載して投函してください。（5 月 30 日必着）**

今年度の総会から各議案に対して**電子投票**も可能です。

投票へのアンケートは、会員ページで行います。

県技師会ホームページより会員サイト(<https://krtbiz.kagoshima-rt.or.jp/>)へログインすると会員サイトに電子投票の案が表示されます。



会場参加予定

: 現地参加予定の方はこちらをクリック

電子投票予定

: 現地参加しない方は、こちらをクリック

電子投票には別途送られてくる **はがき（議決権執行書・委任状）**に記載されている投票パスワードが必要となります。

会員毎に異なるパスワードとなるので取り扱いには注意してください。

iPhone の会員サイト画面



電子投票 ログイン画面（右図参照）

ログインは、会員番号と別途送られてくる はがき に記載されている投票パスワードを入力してログインをお願いします。

***投票についての確認事項が必ず確認してください。**

***はがきに記載されている投票パスワードは専用です**

テスト_第103 回定時総会

※ 投票についての確認事項

投票は、「電子投票」、「ハガキによる投票」、「現地に参加して投票」の3パターンがありいずれも参加できます。

1. 電子投票と書面による投票を行った場合は、電子投票を有効とします。
2. 総会当日参加し挙手にて意思表示を行った場合は、総会当日の内容を有効とします。

※投票についての確認事項に同意していただける方は、以下からログインしてください。

投票についての確認事項に同意してログインする

投票画面（下図参照）

各項目を選択し、投票を行ってください。

テスト_第103 回定時総会について

放射線 太郎 さんの電子投票です。

※既に投票確認済みですが修正した場合は、確認なしで自動更新されます。

終了する

投票を確認する

令和5年度の事業報告及び決算報告

令和5年度の監査報告

令和6年度の事業計画及び予算計画

令和5年度の事業報告及び決算報告

承認する

☒ 承認しない

ご意見を投稿できます。

こちらに、各項目ごとに議案の内容が表示されます。

令和5年度事業報告

すべての項目を確認し、

承認する

☒ 承認しない

 のいずれかを選択してください。

入力後、

投票を確認する

 をクリックし投票を完了してください。

*投票していないタブ(項目)がある場合は、下記の表示がでます。確認後に投票を完了してください。

テスト_第103 回定時総会について

戻る

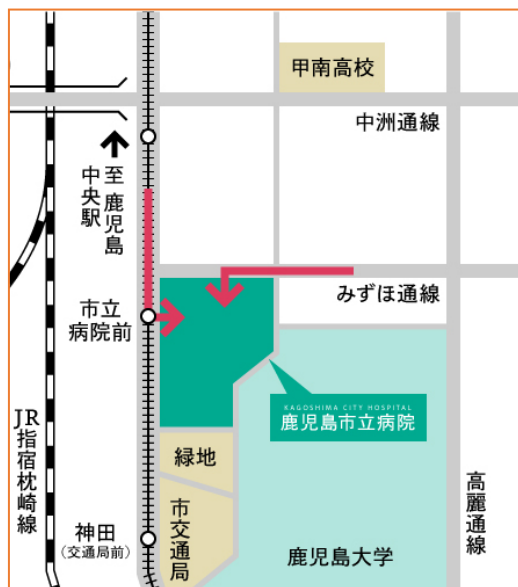
▲ 回答のない案件があります。全ての案件に回答してください。

▲ 令和5年度の事業報告及び決算報告

令和5年度の監査報告 承認する

令和6年度の事業計画及び予算計画 承認する

交通アクセス



【駐車場】



【1F 平面図】

- ・市電：鹿児島駅前台郡元(市電2系統)電停「市立病院前」下車
- ・バス：鹿児島交通 15-2、26 番線 バス停「市立病院前」下車
- ・JR：鹿児島本線・指宿枕崎線「鹿児島中央駅」下車後、市電又はバスに乗り換え
- ・自家用車：病院駐車場をご利用いただけます。

駐車料金を無料にできますので、駐車券を忘れず会場にご持参ください。

【ご視聴方法】

下記のミーティングリンクからアクセスしてください。

すでにアプリをお持ちの方は、アプリを起動後にミーティング番号を入力して参加することもできます。



第 104 回定時総会・春季学術大会（共通）

2025 年 6 月 8 日 日曜日 10:30 から（テスト配信 10：00～）

<https://kagosimart.my.webex.com/kagosimart.my/j.php?MTID=m0685f4cf498e0eb4b0de818a8d8f73e9>

ミーティング番号: 2511 429 3811

パスワード: KRT0608

【注意事項】

配信された動画、発表内容のスクリーンキャプチャ、動画記録、動画撮影などを禁じます。

他者に参加に必要な URL 等を共有することを禁じます。

その他、会運営および他の参加者の迷惑となる行為があったと運営側が判断した場合は、総会・春季学術大会の参加をご遠慮いただくことがあります。

【事前準備のお願い】

本会はテレビ会議システム「Webex」を使用します。

Webex を初めてご使用になる方は、お時間がありましたら事前に「Webex デスクトップアプリ 又はモバイルアプリ」を事前にダウンロードいただければ、当日はスムーズに開始できます。

<https://www.webex.com/ja/downloads.html>

以上

告 示

定款 13 条および 18 条並びに選挙管理規定に基づき、任期満了にともない、令和 7 年、8 年度の役員選挙を下記の通り告示する。

記

1. 定数 理事 24 名（うち 6 名は地域理事）
監事 2 名
2. 立候補・推薦候補届出期間および締切日
令和 7 年 5 月 15 日（木）～令和 7 年 5 月 29 日（木）午後 5 時
3. 届け出先
〒891-0133 鹿児島県鹿児島市平川町宇字都口 5417-1
鹿児島医療技術専門学校 診療放射線技術学科
大浦 竜治 宛
4. 投票日 令和 7 年 6 月 8 日（日）
5. 開票日 令和 7 年 6 月 8 日（日）

以上告示する。

令和7年1月

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

選挙管理委員会委員長 大浦 竜治

上舞 優介

會員各位

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

選挙管理委員会委員長

令和 7 年・ 8 年度役員選挙の実施について

告示のとおり、来る令和 7 年 6 月に開催する令和 7 年度通常総会にて、令和 7 年・8 年度役員選挙を行います。次の事項に留意願います。

1. 立候補または、候補推薦代表者は必ず立候補締切日までに所定の書式に従い選挙管理委員会に届けること。
2. 届出締め切りは、令和7年5月29日（木）午後5時とし、締切日までに選挙管理委員会に到着したもののみ受理し、郵便配達等一切の遅延は認めない。また電話等第1項以外の届出も認めない。
3. 立候補または、候補推薦代表者は、立候補にあたっては本冊子とじ込み様式1、推薦にあたっては様式2で届け出ること。

受付 No. _____

受付年月日及び時間 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分

受付承認印

(注) 枠内は記入しないでください

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会
選挙管理委員会委員長 殿

鹿児島県診療放射線技師会役員（理事・監事）選挙立候補届出書

立候補届出日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

鹿児島県診療放射線技師会役員選挙に立候補する者

1. 氏名 _____ 印 会員番号 _____

2. 性別 _____

3. 年齢 _____ 才

4. 勤務先及び所属 _____

電話 _____

私（ _____ ）は、（ _____ ）年度、鹿児島県診療放射線技師
会役員選挙に立候補します。

(注) 自筆署名捺印のこと

受付 No. _____

受付年月日及び時間 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分

受付承認印

(注) 枠内は記入しないでください

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会
選挙管理委員会委員長 殿

鹿児島県診療放射線技師会役員（理事・監事）選挙推薦届出書

推薦届出日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

鹿児島県診療放射線技師会役員選挙に推薦する者

1. 氏名 _____ 印 会員番号 _____

2. 性別 _____

3. 年齢 _____ 才

4. 勤務先及び所属 _____

電話 _____

私（ _____ ）は、（ _____ ）年度、鹿児島県診療放射線技師
会役員選挙に（ _____ ）氏を推薦します。

推薦者名 _____ 印

推薦者の勤務場所及び所属

電話 _____

(注) 自筆署名捺印のこと

公益社団法人鹿児島県放射線技師会

第 104 回定時総会・春季学術大会（ご案内）

謹啓

新緑の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より
本会の事業運営にご協力を賜り誠に有り難うございます。

さて、第 104 回 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会定時総会、学術大会を開催致
します。ご多忙とは思いますが、多数ご参加下さいますようお願いいたします。

敬具

日 時 : 令和 7 年 6 月 8 日 (日) 10:30 ~ 16:30

開催方法 : 会場&Web のハイブリッド開催

会 場 : 鹿児島市立病院 多目的ホール (鹿児島市上荒田町 37-1)

スケジュール : 【第 104 回定時総会】10:30 ~ 12:00

【春季学術大会 会員発表】13:00 ~ 13:50 (先着順演題募集中)

【シンポジウム】14:00 ~ 16:30

春季学術大会 シンポジウム開催のお知らせ

今回、春季学術大会では、下記タイトルにてシンポジウムを企画しました。令和 3 年 7 月 9 日付けの医政発 0709 第 7 号「臨床検査技師等（含診療放射線技師）に関する法律施行令の一部を改正する政令等」の交付により始まった、告示研修会（実技）は、当県では昨年度までに 12 回開催し、487 名の方が免許更新されました。

その告示研修会も本年度で終了となり、早い施設ではもうすでに静脈路確保業務を始めていて、まだ始めている施設でもそろそろ実務を開始する時期であると考えていらっしゃるかと思います。では、始めるにあたり具体的に、どの様な準備で？どの様な安全を担保としたシステム構築をしたら良いか？スムーズな運用をするには？等、色々と頭を抱えているのではと思っています。

そこで、鹿児島県で早くから静脈路確保業務を始めている、いづろ今村病院の協田 慎一技師長、また、当県の告示研修会で当初より看護師の講師派遣にご協力頂いている上原 奈津美看護部長さん、平石 敬美教育担当師長さん、また、他施設から宮崎県放射線技師会の副会長で告示研修会の運営に携わっている古賀総合病院の篠原 暢孝さんの 4 名の方へシンポジウム形式でそのノウハウをアドバイス頂こうと思い企画しました。上原さん、平石さんからは病院管理者、看護師の立場から、協田さん、篠原さんからは診療放射線技師の立場からそれぞれの経験をお話していただけます。また、篠原さんへは他県の

静脈路確保業務の状況など、平石さんへは、静脈確保のレクチャー（再教育）などのお話もお願いしてあります。

全国の施設では、診療放射線技師による静脈路確保業務が少しずつ始まっているようです。近い将来自分たちの施設でも実施することになることは容易に予想されます。その際に、このシンポジウムが役に立つと確信していますので、是非、多数の会員のみなさんのご参加をお待ちしております。

記

【シンポジウム】 14 時 00 分～16 時 30 分

座長 公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 副会長 藤崎 拓郎

「 診療放射線技師の静脈注射、もう始めていますか？ ～先駆者からのアドバイス～」

1. 看護師の立場から（病院管理者）

「当院看護部でのタスクシフトの取り組み（仮）」

いづろ今村病院 看護部長 上原 奈津美 先生

2. 診療放射線技師の立場から

「当院における静脈路確保業務への取り組み」

いづろ今村病院 画像診断科 脇田 慎一

3. 他県施設の診療放射線技師から

「当院における静脈路確保業務への取り組み（仮）」

古賀総合病院 放射線技術部 篠原 暢孝

4. 看護部の立場から（再教育）

「静脈路確保を始める放射線技師に知ってもらいたいこと（仮）」

いづろ今村病院 教育担当師長 平石 敬美 先生

会員情報につきまして

組織担当 木場淳

平素より本会の活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。

新年度を迎え、住所、勤務先、連絡先が変更になる会員様が多くいらっしゃると思われます。

会員情報が変更になられた際には JART 会員情報システム (JARTIS) 登録の変更をお願いします。

また県ホームページの会員サイトも個人情報の編集をお願い致します。

本会はこの情報を基に活動させていただいております。皆様のご協力をお願いいたします。

1. JART 情報システムの変更方法

JARTIS ログイン → 「登録情報を確認・変更する」 → 「編集」もしくは "鉛筆" マークをクリック

※このページの「連絡先（会誌・書類等送付先）」が会誌の送付先となります。

送付先を変更される際は、こちらのプルダウンメニュー（自宅、勤務先）より選択してください。

2. 県ホームページ会員サイトの編集方法

会員サイトログイン→左上 CacaoBiz アイコン→設定→個人情報編集→更新保存

会計だより

公益社団法人
鹿児島県診療放射線技師会
財務 渡邊義治
木原悠太

令和7年度会費納入に関するお願い

本年も鹿児島県診療放射線技師会においては、日本診療放射線技師会費および鹿児島県会費・九州地域放射線技師会費の会費合算請求を行っております。

JARTより郵送される支払いに関する書面の手順をご確認のうえ、会費の納入をお願い致します。

尚、支払い期限の2025年9月30日(火)を過ぎますと、日本診療放射線技師会からの委託金も減額されてしまいますので、お早目の納入を重ねて宜しくお願い致します。

除籍者に対する未納会費(債権)回収について

JART 発刊の NetworkNow(2022/4)にて、すでにご存じの通り、債権の回収が始まっております。

鹿児島県におきましても、除籍者に対する未納会費回収を JART と行っております。

今年度督促状が郵送された方の中には、会費の支払い忘れによる不本意な除籍となってしまう督促状が届いた方もいらっしゃると思います。

現在、会費の支払い方法は窓口支払いとクレジットカード支払いが選択できますので、クレジットカード支払いへの切り替えをご検討くださいますようお願い致します。

第556号

Network
Now JART

2022年4月1日 毎月1回1日発行 (7)

会費未納による除籍者から債権の回収委託を開始致します

すでに会誌に掲載しております通り、2021年10月2日開催の2021年度第3回理事会において、未収会費の収納代行委託に関する議案が可決され、日本診療放射線技師会会費については2022年4月1日付で会費未納による除籍者より債権の回収委託を開始致します。詳細は下記にお問い合わせください。

■ 本件に関するお問い合わせ：日本診療放射線技師会 財務担当 江端 清和 E-mail : info@jart.or.jp

INFORMATION

第 60 回鹿児島 CT 研究会 開催報告

鹿児島 CT 研究会 大井病院 愛下 剛

第 60 回鹿児島 CT 研究会を、2025 年 1 月 11 日(土)16 時から 18 時まで、現地開催とウェブ視聴のハイブリッド形式で開催しました。現地には 17 名、ウェブ視聴では 40 名の参加がありました。

発表内容

施設紹介

卓翔会記念病院の中俣拓海会員より、『SCENARIO View/FUJIFILM』の装置性能や使用経験について紹介がありました。物理評価での詳細な検証データも提示され、興味深い発表となりました。

アンケート報告

「DRLs2025 に向けた県内施設の CT 撮影条件/プロトコール」と題して、県内の CT 保有施設 15 施設からの回答をもとに、鹿児島県における CT DIvol/DLP の診断参考レベルを提示しました。また、単純撮影・造影撮影に関するアンケート結果をもとに、施設間でのプロトコールの違いについても報告しました。

施設発表

「DRLs2020 からの撮影条件・プロトコールの変遷」について以下の 4 名の会員より発表がありました。

- ・川内市医師会立市民病院 堀之内 勇作 会員
- ・霧島市立医師会医療センター 二渡 智英 会員
- ・鹿児島市立病院 米田 寛彬 会員
- ・鹿児島大学病院 林 六計 会員

各施設の特色を活かした撮影条件の見直しや被ばく線量管理の工夫について、成人・小児における撮影プロトコールの変遷が詳しく紹介されました。

ディスカッション

最後に、各施設の発表者と現地参加者との間でディスカッションを行い、活発な意見交換が行われました。総合司会として、皆様の積極的なご参加を大変嬉しく思いました。

開催を終えて

今回の研究会は久しぶりに現地開催を実施できた貴重な機会となりました。一方で、配信調整を含むハイブリッド開催の難しさも改めて実感しました。次回は 2025 年 5 月に開催を予定しております。今後も鹿児島県における CT 技術の向上を目指し、企画や情報提供を進めてまいりますので、引き続きご参加・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

世話人：代表 愛下 剛：大井病院

岩元 優樹：鹿児島療センター / 沖中 裕幸：川内市医師会立市民病院

木村 圭佑：南風病院 / 坂口 右己：霧島市医師会医療センター

濱田 智太郎：いまきいれ総合病院 / 林 六計：鹿児島大学病院 / 福留 慎也：米盛病院

蓑田 辰則：今村総合病院 / 穂山 和章：鹿児島厚生連病院 / 米田 寛彬：鹿児島市立病院

令和6年度 第3回 告示研修 開催報告

学術担当 藤崎 誠

令和6年度 第3回告示研修が2025年1月12日（日）に鹿児島医療技術専門学校平川校 1号館 5階多目的ホールおよび1号館4階 臨床実習室で開催された。参加者は37名であった。講師2名 脇田 慎一（いづろ今村病院）、茶園 倫子（いづろ今村病院 看護師）ファシリテータ5名（浮田 啓一郎、伊藤 大助、元日田 調、東 幸浩、大浦 竜治）スタッフ2名で行なった。

午前中はDVD視聴で法令改正について、法令改正に伴う業務拡大の各論等について学んだ。

午後より静脈穿刺実技、CTおよびMRI、超音波その他の造影検査手技実技、核医学検査手技実技、動脈路に造影剤注入装置を接続する行為と血管造影時の清潔操作一連の実技、下部消化管検査で注入した造影剤及び空気を吸引する行為の実技、上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為および鼻腔カテーテルを抜去する行為の実技の6ブロックを6つの班に分かれ、それぞれを約1時間にわたり実技研修を行なった。

早朝からのDVD視聴であったが参加者は真剣に視聴しメモをとる姿も見られた。

午後からの実技研修において参加者は皆、真剣に実習を受けており質問等をする様子も多く見られた。朝から終日の長時間にわたる研修会であったにも関わらず集中力も途切れることなく受講されていた。今後は各施設にて実際にこれらの業務を行なっていくものと期待される。

令和7年度は3回の告示研修を開催予定である。現時点では

第1回 2025年5月25日（日）（決定）

第2回以降の日程は未定

で計画をしている。会場はいずれも鹿児島医療技術専門学校の予定である。受講希望者数によっては4回目まで行う予定である。

未受講の会員についても診療放射線技師業務の将来を考える上で是非とも受講していただきたいと考える。

【研修風景】



【DVD 視聴】

【静脈路確保】

【動脈実習】

【下部消化管】

令和 6 年度大島地域研修会開催報告

大島地域 学術担当:柳田 龍一郎

令和 7 年 2 月 15 日、令和 6 年度大島地域研修会を開催した。今回は大島病院救命センター4 階研修ホールを会場とし、参加人数は 17 名であった。

話題提供ではコニカミノルタ株式会社より、線量管理の最新トピックスについての講演があり、国内における線量管理の現状や診断参考レベルの改定についての最新情報、また線量管理システムの活用等についてご紹介いただいた。

会員発表では、県立大島病院の吉水技師、国立療養所奄美和光園の高島技師より発表があった。吉水技師からは、DWIBS撮影に関して撮像プロトコールの検討結果について報告があった。高島技師からは、放射線の安全利用について看護師を対象とした研修の取り組みについての報告があった。

教育講演では、県立大島病院放射線科の阿久根医師より、急性期のCT画像を中心に、撮影プロトコールを選択する際のポイントや、各領域の主となる急性期疾患の画像所見についてご講演をいただいた。

質疑応答では、講演内容に関するもののほか、日頃の業務で感じている疑問や、困っていることなど多岐にわたって質問があり、放射線科医の視点からの貴重なご意見をいただくことができた。

今後についても大島地域の各施設の会員で協力し合いながら、質の高い研修会の開催に努めたい。

【写真】



吉水技師



高島技師



阿久根医師

会場の様子



令和6年度鹿児島県診療放射線技師会霧島始良地域研修会開催報告

霧島始良地域理事 坂口右己

令和7年2月15日（土）に霧島市立医師会医療センターにて現地開催のみの霧島始良地域研修会を行いました。参加総数は33名（会員31名・非会員2名）でした。多数のご参加ありがとうございました。研修会は、市来 守 会長代理の挨拶で幕を開けました。



会長代理 市来 守様

【施設発表】

1. 「虫垂疾患の1例」 (霧島医療センター・塩屋晋吾様)
2. 「当院における Split Bolus 注入法の使用経験」 (霧島医療センター・二渡智英様)



塩屋晋吾様



二渡智英様

【ミニセミナー】 『放射線技師が見る医療経営』

(講師：医療法人 玉昌会 事業企画推進部 医療経営情報課 課長代理 川原翔太先生)

(座長：US パートナー 平賀真雄様)

診療放射線技師として医療経営に関わる視点の重要性を学び、病院経営の現状や課題、診療放射線技師の役割について考える貴重な機会となりました。

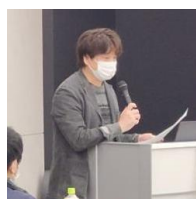


川原翔太先生



平賀真雄様

【シンポジウム】『～リスクマネジメントについて情報共有をしよう～』 (座長：佐々木 崇様) それぞれの施設における安全対策や具体的な事例が紹介され、実際の業務に役立つ知識を深めることができました。



坂口右己



矢野純行様



小野聡様



佃良平様



愛下剛様

【施設見学】

霧島市立医師会医療センター新病院の医療設備や放射線部門の環境について紹介していただきました。



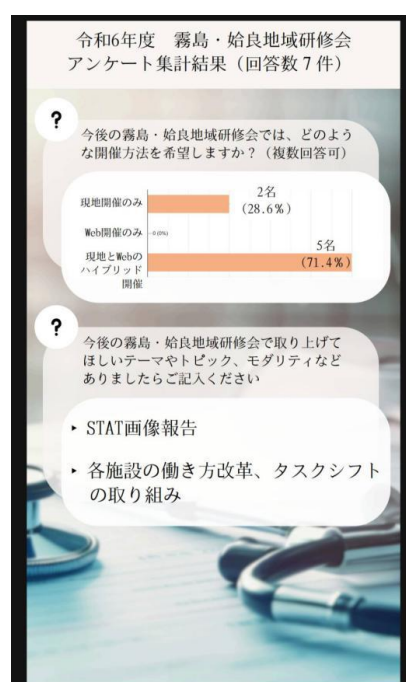
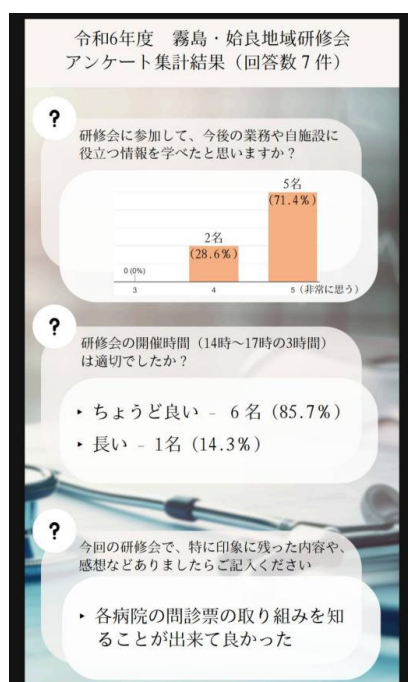
病院外観



PET-CT

今回の研修会では、久しぶりの現地開催となり、直接の交流を通じて多くの学びを得ることができました。特に、症例発表では、日常業務に直結する知見が得られ、診療放射線技師としてのスキル向上に大いに役立つ内容でした。ミニセミナーでは、医療経営の視点から診療放射線技師の役割について考える貴重な機会となりました。病院経営の視点を持つことで、今後の業務改善や医療の質の向上に貢献できる可能性を感じました。シンポジウムでは、医療現場におけるリスクマネジメントについて、各施設の具体的な取り組みを知ることができ、業務の安全性向上に向けた意識が高まりました。日々の業務において、より一層の注意を払い、安全管理を徹底していきたいと強く感じました。最後に、新病院の施設見学では、様々な機器を見ながら運用方法など説明して頂きました。新しい環境でどのように業務を効率化し、より良い医療を提供するかを考える良い機会となりました。今後もこのような研修会を企画し、最新の知識を習得しながら、診療放射線技師としての専門性を高めていきたいと思えます。参加者の皆様どうもありがとうございました。

【研修会終了後のアンケート集計結果】



鹿児島県原子力防災訓練参加報告書（始良会場）

鹿児島市医師会病院

木場淳

令和7年2月16日（日）鹿児島県原子力防災訓練始良会場（県森林技術総合センター）に参加いたしました。巨大地震が発生し川内原子力発電所で原子力災害が発生、UPZからの避難退域検査に対応する要員として当会から7名派遣されました。要員指定駐車場から会場まで2km程ありパークアンドライド方式となり7時40分集合でした。当日は雨模様でしたが車両検査から代表者検査、住民検査、模擬汚染者には簡易除染、安定ヨウ素剤配布まで一連の訓練が行われました。当会から派遣された要員は車両検査で汚染確認があった場合の代表者簡易検査に2名、代表者検査で汚染があった場合車両内の住民簡易検査に3名、代表者簡易検査と住民簡易検査で汚染確認された場合の全身検査で2名配置されました。鹿児島県知事や薩摩川内市長、国から招待された国際関連団体の関係者が多数視察に訪れ、また報道陣も制限なしで検査会場に出入りしていた中、私は全身確認検査に配置され、代表者の簡易検査汚染者と、同乗者の簡易検査汚染者をサーベイしました。訓練中も原子力安全研究協会の講師から様々な指導を承り、都度修正を行いながら無事訓練を完了いたしました。

終了後の総評にて、退域時検査の目的「汚染者に対する除染は元論の事、避難先地域に対して避難される方々は汚染されていないという事を証明する事で安心して受け入れてもらえる」を再確認することが重要だと話され、今後も引き続き協力するよう要請を受けました。今回初めての参加でしたが、内閣府HPで「避難退域時検査は、自治体職員、原子力事業者、診療放射線技師等により実施」と記載されている通り必要不可欠な職種であることを再認識し、実際の有事では相当数の技師派遣が必須になると思われるため、全会員へその必要性を周知することが重要であると感じました。

当会から派遣された会員左より（敬称略）

- ・木佐貫克朗（加世田病院）
- ・坂口右己（霧島市立医師会医療センター）
- ・松元祐樹（霧島市立医師会医療センター）
- ・木場淳（鹿児島市医師会病院）
- ・藤崎誠（南風病院）
- ・中道健太（米盛病院）
- ・岩本大樹（米盛病院）



鹿児島県原子力防災訓練参加報告書（中甕会場）

清泉クリニック整形外科内科

渡邊義治

令和7年2月16（日）に開催された原子力防災訓練に参加しました。今年度は3会場の設置がなされ、私は甕島にある中甕（なかこしき）漁港にて訓練を受けました。朝7時前に家を出るころは雨模様でしたが、自家用車、高速フェリー、レンタカーを乗り継ぎ、10時過ぎに会場に着くころには雨も上がっていました。開催手順では11時に甕島島民を乗せたバスや自家用車などが到着して、防災訓練を進める予定でしたが、島民の希望により開始時間が30分早まったため、会場到着後に慌ただしく更衣して各持ち場に向かいました。私が担当した代表者検査では、バス組から島民の代表が降車してGMサーベイメーターで測定するという内容でした。代表者検査で問診を記入する川薩市役所の方も初参加で戸惑いもあったようでしたが、過去に経験した内容を簡単に説明しながら、スタッフ同士でデモ訓練を行ってから訓練を開始できたことで、訓練をスムーズに終了することができました。初参加の方が多い今回の会場でしたが、できなかった事が次の課題になるといことで、次回以降もより良い訓練にしたいですねと談笑しました。帰路につく頃には夜の6時を回っていましたので、訓練より移動に一日を費やした防災訓練でした。会員の皆様にも防災訓練に興味がある方がいらっしゃれば、是非お声がけください。



（敬称略）左から大迫、太田原、渡邊、東、宮元、牧元

鹿児島消化器画像・超音波研究会 合同開催報告

(第 77 回鹿児島消化器画像研究会 第 27 回鹿児島超音波研究会)

報告者①: 公益社団法人鹿児島共済会南風病院 日高 稔

報告者②: 霧島市立医師会医療センター 塩屋 晋吾

令和 7 年 2 月 19 日(水)、18:30~20:00、WEB 開催にて鹿児島消化器画像研究会と鹿児島超音波研究会を合同開催し、48 名の参加がありました。

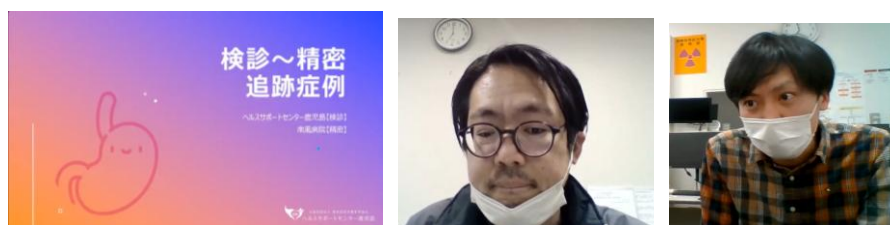
●第 1 部● 消化管 X 線プログラム

消化管 X 線のプログラムは①症例報告、②検診-精密症例 の 2 部構成で企画しました。

まず、いづろ今村病院の林里沙さんから、検診 2 次精査で偶発的に見つかった症例についての発表をしていただきました。検診では他部位をチェックされており、2 次精査の内視鏡検査にて指摘された十二指腸の症例でした。病変部は十二指腸球部ということもあり、描出が難しい領域ではあるが、精査の X 線検査にて病変部は的確に描出されており、検診においても透視観察を行うことで異常に気付き、病変を指摘できる可能性があると思われます。稀な症例ではありますが、今後、胃検診においても十二指腸まで注意して観察することがあると思われる症例でした。



次に、検診-精密症例として、胃 X 線検診で異常を指摘され、精査・加療となった症例について、検診部門として、ヘルスサポート鹿児島の藤田泰弘さん、精密部門として南風病院の上川智弘さんに発表していただきました。病変は食道胃接合部にありましたが、胃 X 線検診においても描出され、異常を指摘されておりました。検査している技師が追加撮影をされており、異常を的確に拾い上げることができた症例でした。精密検査においても、食道胃接合部にあり、病変全体を描出することは難しい症例でしたが、術後の切除標本と対比されており、勉強となった症例でした。

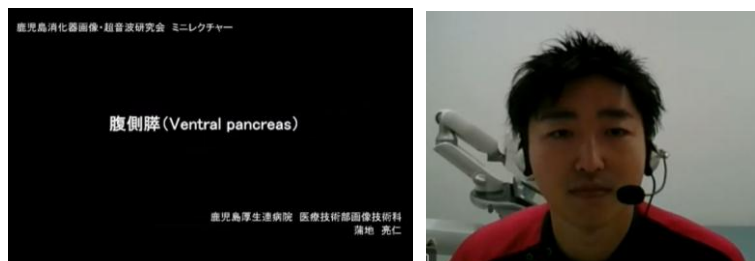


今後も初心者や未経験の方にも興味を持ってもらえるような内容を目指していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

●第2部● 超音波プログラム

超音波部門のプログラムは①ミニレクチャー、②症例報告、③症例から学ぶ の3部構成で企画しました。

まず『わたしの調べたこと聞いてください』というメインタイトルのミニレクチャーとして、鹿児島厚生連病院の蒲地 亮仁さんから腹側膵についての講義をして頂きました。腹側膵の発生機序から解剖、またエコー画像の特徴などについて分かりやすく解説して頂きました。



次に『US が診断と経過観察に寄与した急性巣状細菌性腎炎:AFBN の2例』というタイトルの症例報告として、霧島市立医師会医療センターの初期研修医 島 拓哉先生に発表して頂きました。急性巣状細菌性腎炎 (AFBN)は腎臓の局所感染による膿瘍などの液状化を伴わない腫瘍性病変であり、急性腎盂腎炎と腎膿瘍の中間の疾患概念とされています。成人と小児の AFBN をエコーで正確に診断し経過観察にも寄与できたといった貴重な症例報告でした。AFBN をエコーで拾い上げ速やかに治療へ繋げることの重要性を学ぶことができました。



最後に『症例から学ぶ～鼠径部腫瘍に対する超音波検査～』というタイトルのレクチャーとして、南風病院の日高 稔さんに発表して頂きました。鼠径ヘルニアを中心としたヘルニアのエコーでの各評価ポイントや走査テクニックについての詳細な解説内容でした。南風病院独自の検査マニュアルも提示して頂き、各自検査の際のポイントとして取り入れるべきと実感しました。また同時にヘルニアの評価に関するエコーの有用性を再認識でき臨床に貢献できることも痛感できました。



いずれの発表も参加者のみなさまの知識と技術の向上に繋がる内容でした。今後も超音波未経験の方にも興味を持ってもらえるような内容の会の実現を目指していきたいと考えています。

令和6年度鹿児島さくら RT 研修会 開催報告

鹿児島さくら RT 世話人 いまきいれ総合病院 丸尾 美由紀

令和6年度鹿児島さくらRT研修会を2025 年 2月 27日(木)19:00～21:00 Web にて開催致しました。

参加者は43名(診療放射線技師39名,一般1名、他職種3名)の方に御参加頂き盛会に終えることができました。

◇研修会プログラムは以下の通りです。

日時： 令和7年2月27日(木) 19時～21時 会場： Web 開催

司会進行： 相良病院 坪口 彩香

【開会挨拶】 (19時～19時10分)

【県技師会活動報告】 (公社)鹿児島県診療放射線技師会 会長 太田原 美郎

座長 いまきいれ総合病院 丸尾 美由紀

【話題提供】「男性診療放射線技師の育児休業取得を考える」(19時10分～19:50分)

・男性診療放射線技師の育児休業取得に関するアンケート報告

FRT 九州実行委員 長崎大学病院 山口 友貴

・育児休業取得の経験談「育児休業を経験して」

今村総合病院 前田 裕介

【講演】 がん治療に関わる他職種のお話を聞いてみよう！(19時55分～21時00分)

・「がん治療と管理栄養士の関わり」

いまきいれ総合病院 栄養管理課 鈴木 聖子 先生

・「がんと栄養へのアプローチ～薬剤師視点での栄養支援～」

鹿児島市立病院 薬剤部係長 竹迫 秀和 先生

【閉会の挨拶】 (21時00分)

(公社)鹿児島県診療放射線技師会 南 紫織 理事

話題提供として、男性診療放射線技師の育児休業取得に関するアンケート報告を長崎大学病院の山口友貴さんにお願ひしました。今回のアンケート結果として男性の育児休業取得率は16%でした。育児休業を取得したい方が取得できる環境整備は必要であり、職場の理解、お互い様だと助け合う雰囲気、また課題として、休業中の人員確保(派遣システムの拡充、互助ネットワークの構築)があります。育児休業を経験してのお話で、今村総合病院の前田 裕介さんにお話して頂きました。育休を考えている方へのアドバイスとしては、早めの制度確認、家族や職場としっかり相談しておくことがスムーズにいくのではとのことでした。貴重な経験談を聞くことが出来、参考になったとの参加者の方の声もありました。

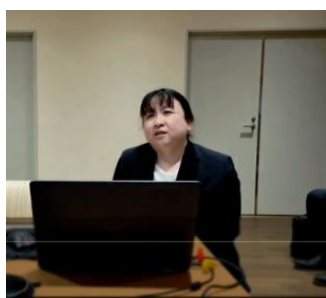
講演として「がん治療に関わる他職種のお話を聞いてみよう」ということで、管理栄養士の鈴木聖子先生と薬剤師の竹迫秀和先生に講演をお願いしました。鈴木先生の講演では、栄養管理加算のこと、NST のこと、放射線治療や化学療法時に起こる食欲不振時の対応事例を教えてくださいました。

竹迫先生の講演では、味覚障害の原因と味覚障害を起こす可能性のある薬剤について教えて頂き、化学療法に伴う味覚変化評価スケールや味覚変化に対する対処法を教えてくださいました。味覚障害を評価することは現状にあった食事を提案したり、専門家(管理栄養士)に繋げることで食の楽しみを取り戻すことに貢献できる可能性があるのでは、困りごとを聴き出す質問力も磨いていかないとはいけなかったと言われていました。参加者の中で放射線治療に携わる技師さんからは、化学療法と併用で放射線治療を行う患者さんも多いため、とても勉強になったというコメントも頂きました。がん治療をされている方の検査に携わることは、私達、診療放射線技師も多いですが、がん治療に関わる他職種の方の普段の業務の話を聞くことが少ないので、今回、お話が聞けて、とても勉強になりました。

今後も鹿児島さくら RT 研修会への御参加を宜しくお願い致します。



太田原 美郎 会長



座長 丸尾 美由紀技師



演者 山口 友貴技師



講師:鈴木 聖子 先生



講師:竹迫 秀和 先生



南 紫織 理事

令和 6 年度鹿児島県医療画像情報精度管理士部会 開催報告

鹿児島県医療画像情報精度管理士部会 武宮 太

令和 6 年度鹿児島県医療画像情報精度管理士部会研修会を Web 配信にて、2025 年 2 月 28 日(金) 18:30～20:30 で開催いたしました。今回は、テーマを【遠隔読影システムについて】として、以下のプログラムにて開催しました。

メーカー発表

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1)医知悟 | 小松 祥樹 氏 |
| 2)株式会社エムネス | 檜山 康明 氏 |
| 3)ドクターネット | 副島 聖司 氏・土谷 翔平 氏 |
| 4)株式会社 iMedical | 田沼 竹生 氏 |

施設発表

- | | |
|------------------|-------|
| 1)鹿児島市医師会病院 | 木場 淳 |
| 2)医療法人七徳会 大井病院 | 副島 恭平 |
| 3)医療法人術徳会 霧島整形外科 | 北園 卓也 |
| 4)医療法人あさひ会 金子病院 | 森 有貴 |

※質疑応答 20:25～

参加者は 66 名(会員 49 名、メーカー 8 名、その他 9 名)で、鹿児島県内参加者は 30 名弱、半数以上は県外からの参加でした。ここ数年は、鹿児島県医療情報システム研究会との合同開催が多かったですが、令和 6 年度より、それぞれ単独開催することに決めました。また、2024 年 7 月 13 日に開催された第 22 回鹿児島県医療情報システム研究会も、参加者 355 名と大盛況に終わりました。

【質疑応答】

Q.医知悟で患者の匿名化とあったが、過去の参照画像も閲覧できるのか？

A.はい、可能です。同一モダリティで過去何回分、とユーザーで設定できます。

Q.自分の施設では、他院の取り込み画像が PACS から出力できないので、遠隔画像にも依頼できない。他の施設はどうしていますか？

A.他院の取込画像を依頼した経験が無いので、特に困ってはいない。

A.他院取り込み画像も、自施設の患者 ID に統一すれば問題なく送信できる。

A.他院取り込み画像のモダリティ名が OT などになっているのでは？

A.PACS 自体の設定の問題なのかな。もしくは他院取り込み画像で DICOM タグの accession number があることで何かしら問題が生じてしまうのか。

【次回案内】令和 7 年度鹿児島県医療画像情報精度管理士部会研修会 8～9 月を予定

第 23 回鹿児島県医療情報システム研究会 2025 年 7 月 12 日(土)を予定

医知悟 小松氏

医知悟は

- 画像診断を必要とされる医療機関様
- 遠隔診断を始められる専門医の先生ご自身

2つの立場 にシステムインフラをご提供します。

医師と病院間で締結される業務委託契約に一切介入しません。

独立した立場で、遠隔画像診断を実現する情報インフラのみをご提供して、両方の立場を支援します。

CONFIDENTIAL

セキュリティについての取り組み

独自技術でのVPN（閉塞環境）

センターサーバーでのウイルスチェック

データの暗号化

- ・VPN通信で通信セキュリティ担保
- ・データ匿名化・暗号化
- ・iCOMBOX自体の暗号化

患者名の匿名化

CONFIDENTIAL

医知悟 小松氏

株式会社エムネス 榎山 氏

クラウドPACS - LOOKREC - 構成イメージ

LOOKREC

インターネット

院内ネットワーク (LAN)

DICOM storage

Receiver/電送

DICOM

CR

US

CT/MRI

ES

Converter

LOOKRECのセキュリティについて

データセンターのセキュリティ対策

- ・Google/YouTube等と同じクラウド基盤であるGoogleCloudPlatformを採用。
- ・セキュリティ技術/専任チームによる不正アクセス等からの防御。
- ・データは匿名化により暗号化され保存。
- ・GoogleCloudは各施設に100%対応済み。ISO4176/ISO4402 Type II (SOC1/SOC2/SOC3, ISO27001, ISO27017, ISO27018)
- ・HIPAA準拠

不正ログイン対策

- ・LOOKRECへのログインは、Gmailと同じGoogle認証基盤を用い、認証機能を強化。
- ・ワンタイムパスワード等のGoogle二要素認証機能によるアクセス認証が可能。

データアクセス権限制御

- ・アクセス権限があるユーザのみLOOKRECへのログインが可能。
- ・ユーザ単位での参照/編集権限設定が可能

通信内容の盗聴、改ざん対策

- ・データはSSL/TLS技術で暗号化通信されます。

エムネスのエンタープライズセキュリティ認証を取得しました。(2021年5月)

エムネス 榎山氏

ドクターネット 副島 氏

事業案内

- Tele-RAD** [テレラド] 放射線診断専門医による遠隔画像診断支援サービス
- Tele-DOC** [テレドック] 診療科専門医による診断/検査専用の遠隔画像診断支援サービス
- Virtual-RAD** [ヴァーチャラド] 遠隔読影システム利用サービス
- AI-RAD** [エイアラド] 人工知能エンジンによる遠隔画像診断支援サービス
- ドクター-PACS for** [ドクターパックスフォー] 医用画像管理/レポートシステム
- DOCTOR NET AGENT** 医療従事者向け人材紹介サービス

© 2020 Doctor NET Inc.

導入までの流れと料金体系

導入までの流れ

- 01 サービス説明
- 02 見積 事前現地調査
- 03 通信環境整備 設置作業調整
- 04 依頼端末設置 通信確認
- 05 運用開始

事前現地調査にて使用するもの

- 通信環境
- 契約プロバイダ状況
- 院内LAN
- 依頼端末/実地所
- 院内システムまたは読影との連携

料金体系

初回導入時 依頼端末設置料およびシステム導入料

月々のお支払い

月額基本料 + 読影支援サービス料/件単 + オプション料金

- ・読影サービス
- ・34/35サービス
- ・読影サービス
- ・読影レポートサービス

© 2020 Doctor NET Inc.

ドクターネット 副島氏

iMedical 田沼 氏

遠隔画像診断支援サービス

サービス特徴

- 読影医は全て放射線科診断専門医
- 読影センターでは検体読影が中心
- レポート返却：CT・MRIは即日返却
- 緊急読影は2時間以内の返却

読影依頼システム

- 読影依頼システムはPSP-送受信を使用
- 院内システムとの連携可能
- メーカーの保守・サポート体制

契約読影医数100名以上

平日17時までに依頼受付の場合は、翌営業日に返却を行います。
読影センター内で緊急読影対応、読影結果のチェックなどを行っています。

iMedical

スマート読影 “i-Radi ZERO” 2024年6月スタート

スマート読影 “i-Radi ZERO” 2024年6月スタート

- ・読影が必要な時にだけ依頼をしない
- ・初期費用や月額料金を抑えたい
- ・システム導入に不安を解消したい

⇒ **PC1台で手軽に読影依頼ができるサービスです**

サービス基本情報

料金	サービス開始までの流れ
初回費用なし/月額料金なし	1. 読影依頼（読影医・読影センター） 読影センターで読影医が読影し、読影結果を報告する。
読影センターで読影	2. 読影センターで読影 読影センターで読影医が読影し、読影結果を報告する。
読影センターで読影	3. 読影センターで読影 読影センターで読影医が読影し、読影結果を報告する。
読影センターで読影	4. 読影センターで読影 読影センターで読影医が読影し、読影結果を報告する。

レポート送付スケジュール

読影センター	読影センター	読影センター
読影センター	読影センター	読影センター
読影センター	読影センター	読影センター
読影センター	読影センター	読影センター

iMedical

iMedical 田沼氏

木場 淳

北園 卓也

森 有貴

副島 恭平

木場 淳

北園 卓也

森 有貴

副島 恭平

令和 6 年度「第 45 回南薩地域研修会」開催報告

南薩地域理事 木佐貫 克朗(加世田病院)

令和 7 年 3 月 1 日土曜日に第 45 回南薩地域研修会を開催しましたので報告します。
今回の研修会是指宿浩然会病院にて初めてのハイブリッド開催となりました。

【開催日】

- ▶開催日 令和 7 年 3 月 1 日(土)
- ▶時 間 15 時～18 時
- ▶会 場 指宿浩然会病院 1 階ホール舟汀(指宿市十町 1145)

【内 容】 進行:野中 康博(菊野病院)

1. 開 会 挨拶 (公社)鹿児島県診療放射線技師会 広報理事 米重 亮馬(鹿児島市立病院)
2. 会 員 発 表 座長:野中 康博(菊野病院)
 - ①「加世田病院であった症例」 加世田病院 木佐貫 克朗 技師
 - ②「バーチャルグリッドへのアーチファクト対策」 前原総合医療病院 岸上 洋一 技師
3. メーカー講演 座長:福留 三朗(今林整形外科病院)
 - ①「医療の世界における AI～現状と今後の展望」 エルピクセル 宮本 皓脩 様
4. 特 別 講 演 座長:國生 岳志(指宿浩然会病院)
「南極で学ぶ人間力」
医療法人 開南 池田診療所所長 宮田 敬博 先生
5. 閉 会 挨拶 南薩地域理事 木佐貫 克朗(加世田病院)
6. 懇 親 会 「くつろぎ処 なんつぁならん」 ※会費制にて 21 名参加

【総 括】

特別講演を行った宮田先生は、平成 9 年第 39 回および、平成 14 年第 44 回日本南極地域観測隊に参加し、2 度にわたり南極へ赴きました。講演では南極での貴重な体験を基に、過酷な環境の中で得た重要なお話をしていただきました。「窮地の下でも自主的に工夫を凝らし、仲間とともに楽しみながら、また助け合いながら成果を上げていく姿勢、感謝する気持ちを忘れない事」を 90 分という時間の中で私たちに教えてくれました。今回の講演から、困難な状況でも前向きに挑戦し、仲間とともに力を合わせて乗り越えていくことを大切にして欲しい、感謝する気持ちを持ってほしいという事を学ぶことができました。

会員発表 2 題、メーカー講演 1 題が演題として出され演者、講師の宮本様には、画像診断 AI の原理、利用における注意点 3 つ、1.感度と特異性のトレードオフ、2.人と AI では異なる判断基準、3.現在の AI の立ち位置、また今後の展望の一例について講演頂きたいへん感謝いたします。

南薩地域の「飲んで(懇親会まで出ましょう！)、歌って(マイクを握り発表しよう！)、踊れる(スポーツを楽しもう！)」のモットー通りに、懇親会には 21 名の参加。ご講演頂いた宮田先生もご参加されて、もっと聞きたかった事や裏話を気軽にお話して頂き、“あっ”という間に時間が過ぎました。

事業案内として、9 月には第 46 回南薩地域研修会をハイブリッド開催で行う予定をしております。

【令和以降の南薩地域研修会一覧】

回	開催日(曜)	会場	総数	放技師	非会員	メーカー	学生	他職種	懇親会	会員発表	メーカー講演	特別講演
39	令和01年09月28日(土)	県立薩南病院	38	27	1	6	4	1	11	2	1	2
40	令和02年02月29日(土)	県立薩南病院	CT研究会との合同開催→直前で中止！(コロナ感染の影響)						開催しない	1		5
41	令和05年02月25日(土)	(WEB開催)	24	20	0	3	0	1	開催しない	0	2	
42	令和05年11月18日(土)	県立薩南病院	38	32	0	6	0	0	開催しない	3	2	1
43	令和06年02月24日(土)	前原総合医療病院	46	42	1	4	0	0	9	1	2	2
44	令和06年09月28日(土)	県立薩南病院	28	19	0	5	2	2	9	2	2	1
45	令和07年03月01日(土)	指宿浩然会病院	34	29	2	3	0	0	21	2	1	1

【写真】



▲研修会会場風景



▲南極から本日帰還したばかりの設定で登場！



▲ブリザードの中で観測を行う隊員



▲ペンギンの観察を行う宮田先生



▲開会あいさつをされる広報理事米重さん



▲懇親会は講師の宮田先生を囲み 21 名の参加！

令和6年度 鹿児島県放射線機器管理士部会研修会（開催報告）

放射線機器管理士部会 部会長 藤崎拓郎

令和6年度の鹿児島県放射線機器管理士部会研修会が、令和7年3月10日(月)に下記内容にて、開催されましたので報告致します。

令和7年2月吉日
会員各位
公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会
会長 太田 美郎
鹿児島県放射線機器管理士部会
部会長 藤崎 拓郎

令和6年度 鹿児島県放射線機器管理士部会研修会 開催案内

下記の日程、要項で放射線機器管理士部会研修会を開催することとなりました。
管理士資格の有無は問いません。多数参加して頂きますようご案内申し上げます。



日時 令和7年3月10日(月)
時間 18時30分～20時30分
会場 WEB開催(Webex Meetings)
参加費 診療放射線技師会員のみのみ: 2,000円 その他全て: 無料
登録 事前登録が必要です。3月8日0時締切
下記アドレスからQRコードからご登録下さい。

https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02c1r70du741.html?pt_s=official&pt_n=online&pt_n=common

18:25～18:30

【 県技師会活動報告 】

(公)鹿児島県診療放射線技師会 会長 太田 美郎

【 部会活動報告 】

鹿児島県放射線機器管理士部会 部会長 藤崎 拓郎

【 教育講演 】 18:30～19:30 司会: 川内市医師会立市民病院 藤崎 拓郎

『 装置メーカーが行う保守点検について学ぼう 』

1. CT装置

キャノンメディカルシステムズ(株) 山岸 悠樹 先生

2. MRI装置

富士フイルムメディカル(株)九州支社

MSセンター(MRI担当) 兼 アプリチーム 下村 幸平 先生

【 情報提供 】 19:30～20:30 司会: 鹿児島市立病院 西元 辰也

『 放射線機器管理システムの紹介 』

1. メーカー:「3mecの紹介」

(株)メディカルクリエイト 折田 信一 先生

2. ユーザー:「3mecの運用 ～中堅技師/管理職 2つの立場から～」

鹿児島大学病院 医療技術部 放射線部門 若松 重良 先生

尚、本会員参加者には、日本診療放射線技師会学術研修カウントが付与される予定です。

【 連絡先 】 川内市医師会立市民病院 放射線課 0996(23)4418 藤崎まで

今回は、教育講演を演題名『装置メーカーが行う保守点検について学ぼう』と題して、我々診療放射線技師が管理して保守点検の実施が求められているCT装置をキャノンメディカルシステムズ(株)山岸 悠樹 先生に、MRI装置を富士フイルムメディカル(株)下村 幸平 先生に、実際にどのような内容の点検を行っているかをそれぞれ講演していただき、日常の放射線医療機器管理に生かそうと考え企画しました。また、情報提供として、『放射線機器管理システムの紹介』と題し、(株)メディカルクリエイト 折田 信一 先生に、メーカー側から「3mecの紹介」を、ユーザー側から「3mecの運用 ～中堅技師/管理職 2つの立場から～」と題して、鹿児島大学病院 医療技術部 放射線部門 若松 重良 先生に、講演していただきました。

装置メーカーが行う保守点検の講演では、平成30年6月の厚生労働省からの通達に、保守点検の適切な実施の項目の中に「保守点検の実施状況等の記録を保存し、管理状況を把握すること。」という文言があり、放射線機器管理者としては知っておくべき事項であります。実際には、私も含め内容をしっかり確認しないでサインしている現状があ

るのではないかと考えています。今回、お二人の先生の講演を聞きまして、装置が正常に稼働するためにメーカーで決められた規程でしっかり点検、管理されていることをあらためて認識させて

もらいました。ちなみに、保守点検を行うメーカーは、修理業許可を取得している業者でなければなりません。我々が取扱う放射線関連の装置メーカーは、そのあたりは疑い余地はありませんが、例えばCEさんらが取扱う医療機器などは色々な種類があり、中には輸入して販売するだけの業者もあるので、しっかりとそれを確認しなければなりません。その他、それぞれの装置の特有な点検項目、点検で注視すべき項目、日常点検で必ず実施して欲しい項目など詳細に説明していただきました。最後に、このような内容の講演依頼はあまりないと思いますので大変ご迷惑お掛けしました、この場をお借りしまして、お二人の先生には感謝申し上げます。





放射線機器管理システムの紹介の講演

では、メーカー側より、実際に厚労省からの委託で検査官として大学病院等を医療監視されていた当県でもなじみのある折田先生から、その医療監視時に押さえておきたい



ポイントなどの話しも交え講演していただいた、このシステムは、唯一診療放射線技師の意見を反映させた放射線機器管理を得意とする医療機器管理システムであるため、保健所などの医療監視時に必要な書類などを網羅していて非常に使い易い印象があります。ユーザー側からは、鹿児島大学病院の放射線治療部門で活用している紹介を中堅と管理技師のそれぞれの立場の目線で話され、また、医療機器管理システムの利点を、実例を挙げて非常に分かり易く講義していただき大変参考になりました。その他、勤務管理として勤怠システムやコロナ禍での体調管理としても利用したことなどの紹介もあり、このようにカスタマイズが比較的許容できるシステムなので、当県での導入施設である鹿児島大学病院、市立病院など比較的予算を取りやすい施設での積極的な活用、改善を進めていただき、より良いシステムにして行くことで、広く会員施設への還元と安心安全な放射線機器管理が構築されることを希望しています。今後、医療機器管理システムの導入を希望している施設は、他社のシステムを購入する場合でも、これだけは必要な項目などが理解できて参考になったのであれば幸甚です。



以上

第29回 鹿児島MRI研究会 開催報告

鹿児島大学病院 岩永 崇

第29回鹿児島MRI研究会を令和7年3月14日(木)18:30よりWeb配信で開催いたしました。今回はメーカー講演としてシーメンスヘルスケア株式会社の諸井 貴さんに「MAGNETOM Flow -DryCool TechnologyとAIの融合-」というタイトルでMRIの新製品について話して頂きました。MAGNETOM Flowは液体ヘリウムを0.7Lしか使用しない1.5T装置にAIを活用した撮像の自動化と高速化を実現した装置で、すでに鹿児島県内でも導入予定があるそうで、各施設のMRI導入や更新の際のひとつの選択肢として大きなインパクトを示せそうとのことでした。特別講演では大分大学医学部附属病院 医療技術部放射線部門の佐賀 雅憲 技師に「造影FLAIRの原理と発展 -PANDORA立案までの経緯を踏まえて-」というタイトルでお話頂きました。PANDORAとはシンプルにはTEを短く設定したFLAIR像(PD-FLAIR)で、頭部造影後のT1強調像に造影FLAIRで得られる淡い造影効果をプラスした新しいコントラストであり、昨年、佐賀さんはこのコントラストの考案でPHILIPSの全国画像コントラストでシルバーアワードを受賞されました。今回はこのPANDORA考案のきっかけから完成までの経緯を細く細く解きながらご講演頂きました。質疑も時間いっぱいまで盛り上がり、大変好評の講演となりました。研究会として7度目のWeb開催でした。今回も県内外より40名と、多くの方々にご参加頂きました。参加頂いた会員の皆様ご厚く御礼申し上げます。今後は現地とwebのハイブリッド開催を目指し、年2回のペースを維持して開催できるよう企画運営に努めて参ります。また多くの皆さまのご参加をお待ちいたしております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

●開催日時 令和7年3月14日(金)18:30～20:00 場所 Web開催

【内容】

1. メーカー講演 18:30～19:00 座長 鹿児島大学病院 大塚 洋和

『MAGNETOM Flow -DryCool TechnologyとAIの融合-』

シーメンスヘルスケア株式会社 ダイアグノスティックイメージング事業本部
MR事業部 諸井 貴氏



メーカー講演:発表者 諸井さん、座長 大塚さん

2. 特別講演 19:00～20:00 座長 いまきいれ総合病院 浮田 啓一郎

『造影FLAIRの原理と発展 -PANDORA立案までの経緯を踏まえて-』

大分大学医学部附属病院 医療技術部放射線部門

佐賀 雅憲 技師



特別講演:発表者 佐賀さん、座長 浮田さん

代表世話人:鹿児島大学病院 岩永 崇

世話人: いまきいれ総合病院: 池田 真一・浮田 啓一郎/南風病院:中原 武志

大隅鹿屋病院:永山 崇臣/鹿児島市立病院:池田 政美/鹿児島医療技術専門学校:迫田 和也

鹿児島大学病院:大塚 洋和

令和 6 年度 鹿児島地域研修会(学術賞授賞講演) (開催報告)

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 副会長 藤崎拓郎

令和 6 年度の鹿児島地域研修会(学術賞授賞講演)が、令和 7 年 3 月 22 日(土)に掲示の内容にて、開催されましたので報告致します。

令和6年度 鹿児島地域研修会 (学術賞授賞講演)

日 時：2025年3月22日(土) 15:00 - 16:30
場 所：相良病院 11階 はくあいホール (WebexによるLive配信)

本研究会への参加は「事前登録制」となります。
参加登録：下記のURLか二次元コードよりご登録をお願いします。

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02pm1cgwr1a41.html>

※ 事前登録期間
2025年02月25日～2025年03月20日(木) 締め切り

<参加費> 診療放射線技師会 会員：無料 ・ 非会員：2000円



総司会 (公社) 鹿児島県診療放射線技師会 理事 藤崎 誠
開会挨拶：15:00～15:05 (公社) 鹿児島県診療放射線技師会 会長 太田原 美郎
授賞式：15:05～15:30
受賞講演：15:30～16:30

講演では、受賞された発表の内容だけでなく、研究のきっかけや苦労話、RSNAの話などをしていただきます。

演題

第107回北米放射線学会 (RSNA) 2021年
Proposal Of Optimal Contrast Method For Pulmonary Artery/vein
Separation Imaging: How To Accomplish Faster 3D Image Construction,
Reduced Contrast Agent Dose, And Improved Image Quality

演者

鹿児島厚生連病院 医療技術学部 画像技術科
穂山 和章 先生

演題

第109回北米放射線学会 (RSNA) 2023年
Late Iodine Enhancement of myocardial with Deep Learning
Reconstruction under low radiation doses and low contrast doses:
how to get the best image quality?

演者

鹿児島市立病院 放射線技術科
安永 勇太 先生

※本会員参加者には、日本診療放射線技師会学術研修カウントが付与されます。
尚、当日の研修会に関する病院へのお問い合わせは控えください。

【お問合せ】 相良病院 放射線技術部 大迫優一 E-mail: kagosimart@gmail.com

今回、開催されます令和 6 年度鹿児島地域研修会は、恒例で鹿児島県内の 5 つの地域、大島地域、南薩地域、北薩地域、霧島始良地域、大隅地域で開催されています地域研修会と同様で、鹿児島地域で開催する研修会という位置づけであります。しかし、鹿児島地域の研修会は、春の総会時の学術大会や他の管理士部会研修会、研究会等と重なるとの理由でしばらくの間、開催を見送っていましたが、今回この様な形で実に 9 年ぶりに開催する運びとなりました。今後、鹿児島地域研修会では、毎年、学術賞の表彰を兼ねて講演会を中心に活動していく予定であります。

さて、公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会の定款第 3 条に、「この法人は、診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、診療放射線の安全管理に関する知識の普及啓発、及び診療放射線学の向上発達を図り、もって県民の健康福祉の維持発展に寄与することを目的とする。」とありますが、今回のこの学術賞は、まさに、本会の目的でもあります、会員の診療放射線学の向上発達を図る、推進するために設けた賞であります。毎年、診療放射線学で優れた業績を

残された方を表彰し、今後、会員の目標となる賞になればと考えています。

今年度は、下記、お二人の方を表彰することとなりました。(紙面の都合で発表本文は割愛致します)

第 107 回北米放射線学会 (RSNA) 2012 年で発表された演題名

「Proposal Of Optimal Contrast Method For Pulmonary Artery/vein
Separation Imaging: How To Accomplish Faster 3D Image
Construction, Reduced Contrast Agent Dose, And Improved Image
Quality」

の鹿児島厚生連病院 医療技術部 画像技術科 穂山和章 先生



第 109 回北米放射線学会 (RSNA) 2023 年で発表された演題名

「Late Iodine Enhancement of myocardial with Deep Learning
Reconstruction under low radiation doses and low contrast doses:
how to get the best image quality?」

の鹿児島市立病院 放射線技術科 安永勇太 先生



穂山先生は、鹿児島厚生連病院の所属であり、安永先生は、今は鹿児島市立病院の所属ですが、受賞された時は、県立大島病院に所属されていまして、お二人とも決して研究機関病院のような研究発表を容易にできる環境ではなかったと思われ、そんな中、北米放射線学会 (RSNA) という、放射線医学界で誰でも知っている権威ある学会にアクセプトされ、発表されたということは、優れた研究内容であることはもちろん、その他費用面などでも大変であることから、本人の並々ならぬ努力があったものと推測され、今回の受賞となりました。当日は、写真で掲示していますように本会からの授賞式が行われ、その後、受賞講演が行われ、それぞれ RSNA にアクセプト、発表するまでの経緯や苦労した点などを含めた、今後発表を目指す後進のために詳細な講演が行われ、大変参考になったのではと思われます。

ご講演の中で、分からない事がありましたらいつでも相談して下さいとの事でしたので、個別に連絡を取ってもらい、是非、会員みなさまもお二人に続きどしどし RSNA などでも発表して下さい。そして、来年以降、この場で受賞講演してもらえたら、鹿児島県診療放射線技師会としても、会員の診療放射線学の向上発展につながるものと確信していますので、どうぞよろしくお願い致します。

最後になりましたが、公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会としては、この賞の授与は、ご本人だけでなく、所属施設の病院長、技師長さんをはじめ、同僚の方々にも敬意を表し感謝申し上げていることを申し添えます。今後、お二人の益々のご活躍を祈念致しましてご報告と致します。

以上



公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 令和6年度 第4回理事会 議事録(抄)

日時:令和7年3月2日(日)

場所:鹿児島県診療放射線技師会事務所

(Web会議とのハイブリッド開催)

出席理事:

太田原 美郎・渡邊 義治・藤崎 拓郎・木原 悠太・
大迫 俊一・浮田 啓一郎・脇田 慎一

(Web会議システムを通じての出席)

木場 淳・藤崎 誠・元 俊晶・米重 亮馬・
野中 康博・市来 守・木佐貫 克朗・東 幸浩・
前田 健一郎・愛下 剛・吉田 紫織・坂口 右己・
熊谷 繁夫・伊藤 大助

監事:池田 睦 監事

欠席理事:堀上 英昭・本村 克朗

議長:太田原美郎

開会:議長より理事の過半数以上が出席しており、令和6年度
第4回理事会の開催が宣言された。

第1号議案 会長・副会長・各常務理事による活動報告(第16 条7項)

会務についてから総務理事から説明が行われた(別紙:会
務報告参照)

1. 会長

特に報告なし

2. 副会長(藤崎)

【報告事項】

・令和7年度の告示研修、統一講習会の当県での開催日程
について

JART主催の上記講習会は、令和7年度も告示研修会は3回
(5月、8月、11月)、統一講習会は1回(9月)の開催を予定
している。令和8年度以降については行わない方針であると
太田原会長より報告がある。

3. 総務

①規程集 作成について

次回会報に合わせて規程集の作成を予定している。次回理
事会ではすべての内容について最終確認をもらい、次回
理事会で規程集作成について承認してもらうこととなった。合
わせて、印刷は会報と別に作成することの報告がある。以上、
規程集 作成について協議を行い、出席理事全てが同意し承
認された。

②規程集の内容について

① 前回 2014年に発行している『記念誌及び規程集 組織と

活動 2014年=第3版=』の内容を元に改定内容を検討した。

1, 連絡網:個人情報の観点から削除することとした。

2, 鹿児島県原子力等防災連携計画・大規模災害医療支援
計画書:太田原会長が内容を一度精査し、載せるか載せ
ないかについても会長に一任することとした。

3, 会費免除に関する規程と会費免除申請書:会費免除申請
書に関しては、ホームページ会員サイトへ移行しているた
め削除、会費免除に関する規程は、会費に関する規程
に掲載。

4, 退会届・入会・再入会・登録情報変更・退会申請マニ
ュアル:退会届・入会・再入会・登録情報変更・退会申請マ
ニュアルに関しても運用変更しているため削除とした。

②最新の規程、細則等の内容について改めて理事会にて
協議を行った。

詳細については各項目の新旧対照表を参照。

1, 定款細則

2, 役員選挙規定

3, 慶弔規程

4, 管理士部会・研究会等に関する規程

5, 会費に関する規程

6, 役員等の報酬および費用の支給に関する規定

以上、規程集の内容について協議を行い、出席理事全てが
同意し承認された。

③次年度事業計画(案)について

理事会では次年度事業計画について報告の予定であるこ
との説明がある。次年度も事業計画としては例年通りであるが、
小学校や中学校で放射線に関する講義についてはこれまで
実績がないため理事の意見も参考にして進めたい旨の話が
あった。研究会の実施については、鹿児島 AI 研究会を追加
した。以上、次年度事業計画(案)協議を行い、出席理事全て
が同意し承認された。

【報告事項】

・鹿児島県技師会連絡網の再整備について

災害時の被害状況確認や JART からの重要な連絡を目的とし
た連絡網を整備することを目的に、それぞれの地域毎に連絡
網を再度整備することとなった。下記の工程で確認中であるこ
との説明がある。

①各地域区分け

再整備を機に各地域区分けを行った。また、所属地域は
所属施設の住所であることの確認を行った。

②会員データを元に施設の代表(技師長等)に同意をもらう。

③2月末をめどに同意を得られた施設を表にまとめる。

③3月理事会で中間報告

完成に向けて引き続き確認作業を進める。

鹿児島県放射線技師会連絡網（地域区分）

2025年1月時点

(1) 鹿児島地域	(2) 霧島・始良地域	(3) 大隅地域	(4) 大島地域	(5) 南薩地域	(6) 北薩地域
鹿児島市	霧島市	鹿屋市	奄美市	枕崎市	阿久根市
三島村	始良市	垂水市	大和村	指宿市	出水市
十島村		曾於市	宇検村	南さつま市	薩摩川内市
西之表市		志布志市	瀬戸内町	南九州市	さつま町
中種子町		大崎町	龍郷町	日置市	長島町
南種子町		東串良町	喜界町		いちき串木野市
屋久島町		錦江町	徳之島町		伊佐市
		南大隅町	天城町		湧水町
		肝付町	伊仙町		
			和泊町		
			知名町		
			与論町		

・公文書発行一覧について

公文書発行一覧について、別紙資料を元に総務理事から説明があった。別紙：公文書発行記録参照

4, 財務

① 次年度予算書(案)について

次年度予算案について正味財産増減計算書を元に説明があった。福利厚生費については次年度のボウリング大会や各地域などのイベントを考慮した金額にしている事の説明があった。以上、次年度予算書(案)について協議を行い、出席理事全てが同意し承認された。

②「緑の募金」運動への寄附とつながるおもい、ピンクリボンの協賛金について

財務状況を鑑みて、例年行ってきた「緑の募金」運動への寄附は中止、つながるおもい、ピンクリボンの協賛金についてはどちらも1万円とすることとなった。以上、「緑の募金」運動への寄附とつながるおもい、ピンクリボンの協賛金について協議を行い、出席理事全てが同意し承認された。

③令和7年度支払いに関する事前承認について

令和7年度分ホームページ利用料と岩重公認会計事務所顧問料に関して、次年度の支払いに関して説明がある。以上、令和7年度支払いに関する事前承認について協議を行い、出席理事全てが同意し承認された。

④資金調達および設備投資の見込み書類の提出について

渡邊財務理事より資金調達および設備投資の見込みについて下記の報告がある。

(第13期:令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(1)資金調達の見込みについて

第13期(令和7年4月1日～令和8年3月31日)中に資金調達の予定はありません。

(2)設備投資の見込みについて

第13期(令和7年4月1日～令和8年3月31日)中に設備投資の見込みはありません。

以上、資金調達および設備投資の見込み書類について協議を行い、出席理事全てが同意し承認された。

⑤鹿児島銀行振込手数料変更に伴う複数科目をまとめて振り込むことへの変更について

2025年4月1日より鹿児島銀行の振込手数料の改定が行われる。当会では支払手数料として25万5千円(令和5年度)の実績があり、令和7年度はさらなる増額が予想される。

現在は会計処理の簡便化のため科目ごとの振り込みを可能な限り行っていたが、今後は複数科目をまとめて振り込むことで少しでも経費削減に努めるとの説明がある。以上、複数科目をまとめて振り込むことへの変更について協議を行い、出席理事全てが同意し承認された。

【報告事項】

・市民健康まつりについて

市民健康まつりについて報告があり、次年度の実施計画が未定ではあるが例年通り骨密度検査をする予定であることの報告があった。

・坂元事務所の火災保険について

現在、事務所火災保険料として年間72,546円(建物58,734円、什器13,812円)支払いがある。補償内容として建物900万円、什器200万円となる。満期は2029年で4年後となる。費用削減のため、JA共済から県民共済へ変更を検討したが、事業所への適応ができないことがわかり現状のまま継続となった。

5, 学術

①JART主催イベント時の交通費について

JARTからの支給される交通費が、『自宅から開催場所まで』から『施設から開催場所まで』へ変更となり、開催場所を提供している方は交通費が出せなくなった。開催場所を提供している方は、技師会の交通費支給に従い支給(1000円)支給することとなった。以上、JART主催イベント時の交通費について協議を行い、出席理事全てが同意し承認された。

【各研究会から出たご意見について】

*第60回鹿児島CT研究会

:音声の不具合が発生し、PCから離れた質問者・ディスカッション担当4名の声が聞こえなかった。現地参加は発表者、世話人で占められていた。通常の参加者は3名。現地参加とWEB参加で差別化が必要ではないか。(WEBを有料化するなど)

6, 福利厚生

【報告事項】:

ボウリング大会開催報告

2025年2月22日に第10回鹿児島県診療放射線技師会ボウリング大会を実施。19名の参加がある。優勝・準優勝・3位敢闘賞(10位)・ブービー賞・団体優勝に景品を出した。新人と先輩が触れ合えるいい機会となった。今回は参加者が昨年に比べて少なかったため、次回はもう少し早めに広報を行う。また、地域ごとに分けて事業を行えないかも検討する。

7, 編集・広報

【報告事項】

・今後の会報発行について

次年度の会報の予算について財務理事から説明がある。一時期会誌の内容が薄くなっていたため、内容を増やして広報することを検討してきたが、内容を増やせば、印刷費が増える。印刷費・発送費が値上がりしている状況のため、紙による発行回数や電子化などを含めて今後検討することとなった。

8, 表彰

【報告事項】

・表彰委員辞退について

現在2名の委員から次年度の委員から辞退させてもらいたいとの連絡があったと報告がある。

・令和7年秋の叙勲推薦について

県庁保健福祉課の担当者より令和7年秋の叙勲推薦について候補者がいないか確認の連絡があり、技師会からの候補者が無かった旨を県庁宛てに公文として提出したことについて報告がある。

9, 組織

①退会申請処理変更について(JARTISシステム変更の対応)

JARTよりJARTISマイページに退会申請ボタンを作成と最終的な退会承認も各地方技師会で処理するようシステム変更について案内がある。これまでは、県技師会の会員サイトから申し込みであったが、JARTISから直接退会申請が可能となるため運用について協議を行った。JARTISから退会申請を行うと組織理事へメールが届くので組織理事が県のオンライン申請を代行登録し県三役承認依頼を回覧することとなった。

以上、退会申請処理変更について協議を行い、出席理事全てが同意し承認された。

②会員サイトの会員情報について

令和6年度第1回理事会において、県ホームページ会員サイト作成関連の依頼を総務理事から組織理事へ移管された事を報告したが、会員サイト作成時にHP担当へ送信する会員情報の項目が少なかったことが判明した。会員サイト運営管理会社に運用を確認することとし、所在地(自宅)と勤務先と両方を登録することとなった。以上、会員サイトの会員情報について協議を行い、出席理事全てが同意し承認された。

議題2 会員動向報告(第6条):組織

・会員動向(2025年2月末時点)

※入会申請中3件(取下げ3件含む)退会申請中0件

年 月	月末会員数	入 会	転 入	転 出	退 会
2023 年度集計	614	40	8	4	28
2024 年 12 月	651	4			1
2025 年 1 月	647	1			5
2025 年 2 月	635	1		1	12
2024 年度集計	635	48	4	4	27(除籍6)

議題3 その他

①鹿児島市夜間急病センター新規募集について(脇田理事)

鹿児島市夜間急病センター 新規勤務者募集について、県技師会ホームページに掲載、2025年1月20日~2月10日の期間で募集を行い、条件を満たしている会員11名の応募があったことの報告がある。勤務の選考に関しては次回理事会までに欠員の3名を決定し報告することになった。

②研究会参加費について

現在、管理士部会・研究会等に関する規程において会員は無料となっている。

以前は500円徴収していましたが、コロナ禍以降正会員の参加費は無料とした。対面開催(Hybrid 開催)し講師を招くには

宿泊・交通費がかかるため人数に制限があります(次年度は2名予定)。そのため参加費を徴収しそれらの費用にしたい。ただ、参加費を徴収するデメリットとして、参加者数の低下が考えられる。

上記内容について説明をしたうえで、各研究会・部会・地域にアンケートを行い、結果について報告を行った。

会員の参加費の徴収に関しては、参加者が減るので無料のままがいいなど現状維持を望む意見があるが、認定資格単位取得の付与の有無や、外部講師を現地に呼ぶ研究会に限り費用を取った方がいい、県外の参加者については参加費を取るなどの意見もある。協議の結果、県技師会会員は原則無料とするが、県外会員は参加費500円、外部講師を現地に呼

ぶ研究会においては WEB 参加費 500 円を徴収する。非会員
に関しては現状維持(2000 円)。メーカーに関しては 参加費を

徴収してもいいのではとの意見もあり 1000 円徴収することとし
た。

正会員	非会員	世話人	他職種	一般市民 学生	メーカー
無料 (500 円*)	2000 円	無料	無料	無料	1000 円

*: 県外会員。または外部講師を現地に呼ぶ場合など必要に応じて徴収する。

閉会

議長より全ての議事が終了し、令和6年度第 4 回理事会の
閉会が宣言された。

令和 7 年 3 月 22 日

益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

会 長 太田原 美郎

監 事 池田 睦

理 事 野中 康博・渡邊 義治

議事録作成者

理 事 市来 守・大迫 俊一

別紙:会務報告

令和 5 年度 会務報告

開 催 日	内 容	開 催 場 所	出 席 者
2024/12/14	第 3 回 理事会	相良病院 (WEB)	理事(22 名)・池田監事
2024/12/17	九州放射線医療技術学術大会 第 1 回実行委員会	鹿児島大学病院	太田原会長・藤崎副会長・大迫 副会長・渡邊理事
2024/12/20~22	九州放射線医療技術学術大会 宮崎大会 視察	宮崎県シーガイア	太田原会長・藤崎・大迫副会 長・渡邊理事・藤崎誠理事等
2025/1/9	九州放射線医療技術学術大会 第 2 回実行委員会	現地開催	
2025/1/20	第 5 回 三役会議	事務所 (WEB)	太田原会長・藤崎・大迫副会 長・渡邊理事・野中理事
2025/1/20	つながる想い実行委員会	WEB	藤崎誠理事
2025/1/30	研究会世話人代表 意見交換会	相良病院 (WEB)	太田原会長・藤崎副会長・大迫 副会長・渡邊理事・他 18 名参加
2025/2/5	JART 表彰委員会	WEB	太田原会長
2025/2/6	第 3 回 常務理事会	坂元事務所 (WEB)	常務理事(9 名)
2025/2/8・9	第 19 回九州放射線医療技術学術大会 第 3 回役員会および引継ぎ会議	宮崎	太田原会長
2025/2/13	原田学園教育編成編成会議	WEB	野中理事
2025/2/16	令和 6 年度鹿児島県原子災害訓練	中甕・始良・出水	14 名参加
2025/2/19	つながる想い実行委員会	WEB	藤崎誠理事
2025/2/20	全国原子力災害医療連携会議	WEB	太田原会長
2025/2/22	ボウリング大会	鹿児島市	太田原会長・藤崎・大迫副会 長・渡邊理事・愛下理事
2025/3/2	第 4 回 理事会 ・ 坂元事務所清掃	相良病院 (WEB)	理事(22 名)・池田監事

定款細則 新旧対照表

新	旧	備考欄
(役員に関する項) 第 7 条 常務理事、地域理事以外の理事は <u>理事会</u> に参加し、常務理事と同様な技師会業務を行う。	(役員に関する項) 第 7 条 常務理事、地域理事以外の理事は <u>常務理事と同様に常務理事会</u> に参加し、常務理事と同様な技師会業務を行う。	修正
(管理士部会に関する項) 第 20 条 この法人に、放射線機器管理士部会、放射線管理士部会、 <u>医療</u> 画像情報精度管理士部会等を置くことができる。	(管理士部会に関する項) 第 20 条 この法人に、放射線機器管理士部会、放射線管理士部会、 <u>医用</u> 画像情報精度管理士部会等を置くことができる。	修正
(研究会に関する項) 第 23 条 この法人に、鹿児島 CT 研究会、鹿児島MRI 研究会、鹿児島消化器画像研究会、鹿児島乳腺画像研究会、鹿児島超音波研究会、鹿児島X線撮影研究会、 <u>鹿児島AI 研究会</u> 等を置くことができる。	(研究会に関する項) 第 23 条 この法人に、鹿児島 CT 研究会、鹿児島MRI 研究会、鹿児島消化器画像研究会、鹿児島乳腺画像研究会、鹿児島超音波研究会、鹿児島X線撮影研究会等を置くことができる。	追加

役員選挙規程 新旧対照表

新	旧	備考欄
(役員の選挙) 第 6 条 立候補、推薦候補の届出締切りは総会の <u>3 か月前</u> とする。	(役員の選挙) 第 6 条 立候補、推薦候補の届出締切りは総会の <u>前 10 日</u> とする。	* 1 : 変更

* 1 : 総会の前 10 日だと議決権行使書（ハガキ形式）による賛成または反対の意思表示をするための時間が取れないため。

管理士部会・研究会等に関する規程 新旧対照表

新	旧	備考欄																								
(各管理士部会及び各研究会) 第 3 条 各管理士部会は、定款細則第 21 条で定めた次の部会とする。 2 各研究会は、定款細則第 24 条で定めた次の研究会とする。 (1) 鹿児島 CT 研究会 (2) 鹿児島 MRI 研究会 (3) 鹿児島消化器画像研究会 (4) 鹿児島乳腺画像研究会 (5) 鹿児島超音波研究会 (6) 鹿児島 X 線撮影研究会 <u>(7) 鹿児島 AI 研究会</u>	(各管理士部会及び各研究会) 第 3 条 各管理士部会は、定款細則第 21 条で定めた次の部会とする。 2 各研究会は、定款細則第 24 条で定めた次の研究会とする。 (1) 鹿児島 CT 研究会 (2) 鹿児島 MRI 研究会 (3) 鹿児島消化器画像研究会 (4) 鹿児島乳腺画像研究会 (5) 鹿児島超音波研究会 (6) 鹿児島 X 線撮影研究会																									
(参加費) 第 8 条 管理士部会・研究会等の参加費は、以下のとおりとする。 <table><tr><td>正会員</td><td>非会員</td><td>世話人</td><td>他職種</td><td>一般市民 学生</td><td>メーカー</td></tr><tr><td>無料 (500 円*)</td><td>2000 円</td><td>無料</td><td>無料</td><td>無料</td><td>1000 円</td></tr></table> <u>*：県外会員。または外部講師を現地に呼ぶ場合など必要に応じて徴収する。</u>	正会員	非会員	世話人	他職種	一般市民 学生	メーカー	無料 (500 円*)	2000 円	無料	無料	無料	1000 円	(参加費) 第 8 条 管理士部会・研究会等の参加費は、以下のとおりとする。 <table><tr><td>正会員</td><td>非会員</td><td>世話人</td><td>他職種</td><td>一般市民 学生</td><td>メーカー</td></tr><tr><td>無料</td><td>2000 円</td><td>無料</td><td>無料</td><td>無料</td><td>無料</td></tr></table>	正会員	非会員	世話人	他職種	一般市民 学生	メーカー	無料	2000 円	無料	無料	無料	無料	追加
正会員	非会員	世話人	他職種	一般市民 学生	メーカー																					
無料 (500 円*)	2000 円	無料	無料	無料	1000 円																					
正会員	非会員	世話人	他職種	一般市民 学生	メーカー																					
無料	2000 円	無料	無料	無料	無料																					
		金額を変更																								

会費に関する規程 新旧対照表

新	旧	備考欄																		
第 4 条 前条に定める会費の金額は別表のとおりとする。 〔別表〕 <table><tr><td>新入会会員</td><td>公益社団法人日本診療放射線技師会 入会金 公益社団法人日本診療放射線技師会 会費 九州地域放射線技師会 会費 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 会費</td><td>5,000 円 <u>14,000 円</u> 500 円 7000 円 <u>計 26,500 円</u></td></tr><tr><td>正会員</td><td>公益社団法人日本診療放射線技師会 会費 九州地域放射線技師会 会費 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 会費</td><td><u>14,000 円</u> 500 円 7000 円 <u>計 21,500 円</u></td></tr><tr><td>賛助会員</td><td>公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 年会費</td><td>計 20,000 円</td></tr></table>	新入会会員	公益社団法人日本診療放射線技師会 入会金 公益社団法人日本診療放射線技師会 会費 九州地域放射線技師会 会費 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 会費	5,000 円 <u>14,000 円</u> 500 円 7000 円 <u>計 26,500 円</u>	正会員	公益社団法人日本診療放射線技師会 会費 九州地域放射線技師会 会費 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 会費	<u>14,000 円</u> 500 円 7000 円 <u>計 21,500 円</u>	賛助会員	公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 年会費	計 20,000 円	第 4 条 前条に定める会費の金額は別表のとおりとする。 〔別表〕 <table><tr><td>新入会会員</td><td>公益社団法人日本診療放射線技師会 入会金 公益社団法人日本診療放射線技師会 会費 九州地域放射線技師会 会費 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 会費</td><td>5,000 円 <u>15,000 円</u> 500 円 7000 円 <u>計 27,500 円</u></td></tr><tr><td>正会員</td><td>公益社団法人日本診療放射線技師会 会費 九州地域放射線技師会 会費 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 会費</td><td><u>15,000 円</u> 500 円 7000 円 <u>計 22,500 円</u></td></tr><tr><td>賛助会員</td><td>公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 年会費</td><td>計 20,000 円</td></tr></table>	新入会会員	公益社団法人日本診療放射線技師会 入会金 公益社団法人日本診療放射線技師会 会費 九州地域放射線技師会 会費 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 会費	5,000 円 <u>15,000 円</u> 500 円 7000 円 <u>計 27,500 円</u>	正会員	公益社団法人日本診療放射線技師会 会費 九州地域放射線技師会 会費 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 会費	<u>15,000 円</u> 500 円 7000 円 <u>計 22,500 円</u>	賛助会員	公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 年会費	計 20,000 円	変更 JART 年会費に合 わせて修正
新入会会員	公益社団法人日本診療放射線技師会 入会金 公益社団法人日本診療放射線技師会 会費 九州地域放射線技師会 会費 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 会費	5,000 円 <u>14,000 円</u> 500 円 7000 円 <u>計 26,500 円</u>																		
正会員	公益社団法人日本診療放射線技師会 会費 九州地域放射線技師会 会費 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 会費	<u>14,000 円</u> 500 円 7000 円 <u>計 21,500 円</u>																		
賛助会員	公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 年会費	計 20,000 円																		
新入会会員	公益社団法人日本診療放射線技師会 入会金 公益社団法人日本診療放射線技師会 会費 九州地域放射線技師会 会費 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 会費	5,000 円 <u>15,000 円</u> 500 円 7000 円 <u>計 27,500 円</u>																		
正会員	公益社団法人日本診療放射線技師会 会費 九州地域放射線技師会 会費 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 会費	<u>15,000 円</u> 500 円 7000 円 <u>計 22,500 円</u>																		
賛助会員	公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 年会費	計 20,000 円																		
(有期免除の基準) 第 8 条 有期免除に対する基準は次のとおりとする。 (2) <u>出産および育児のため休職している会員または配偶者 期間は、休職期間に係る最長 2 年度までとする</u>	(有期免除の基準) 第 8 条 有期免除に対する基準は次のとおりとする。 (2) <u>出産および育児のため休職している者</u>	変更*1 JART の改訂に合 わせて、内容の一部 を変更する。																		

* 1
参考資料：公益社団法人 日本診療放射線技師会
会費等納入規程
(出産、育児の免除)
第 11 条 会員または配偶者の出産に伴い、証明書を付した申請により、翌年度の会費免除の取り扱いを受けることができる。
2 会員が出産後の育児休業に伴い休職する場合は、事業主が発行する休業証明書を付した申請により、前項と併せて休職期間に係る最長 2 年度にわたって
会費免除の取扱いを受けることができる。
令和 5 年 6 月 10 日改正

慶弔規程 新旧対照表

新	旧	備考欄
第 2 条 会員が次の各項に該当する場合はそれぞれ定められたもの を送る。 (1) 会員の結婚 <u>祝い金 10,000 円</u> <u>(申請期限は婚姻(入籍)日から 1 年間)</u> (2) 会員の死亡 <u>弔慰金 10,000 円</u>	第 2 条 会員が次の各項に該当する場合はそれぞれ定められたもの を送る。 (1) 会員の結婚 <u>祝電</u> (2) 会員の死亡 <u>花輪と弔電</u>	変更 追加 変更

役員等の報酬及び費用の支給に関する規程 新旧対照表

新	旧	備考欄
(通信費の支給) 第 9 条 インターネット通信(以下、WEB またはリモートとする) を介して、この規程の 8 条に定めた会に出席した場合は、 <u>通信費として 1000 円を支給する。ただし、Web で講演・ 発表等を行った場合は、通信費は謝金に含まれる。</u> また、通 信費の支給は議事録または事業起案書に記載された者のみと する。	(通信費の支給) 第 9 条 インターネット通信(以下、WEB またはリモートとする) を介してこの規程の 8 条に定めた会に出席した場合は、 <u>市 内交通費と同額を支給する。ただし、交通費と通信費は重複 支給を行わない。</u> また、通信費の支給は議事録または事業 起案書に記載された者のみとする。	* 1：変更

* 1：WEB で発表を行った場合の通信費の取り扱いについて修正を行った。

公文書発行一覧

2024年度

記録者：大迫（相良病院）

番号	発行日時	文書	宛先	備考
24038	2024/12/11	会場借用のお願いについて	学校法人原田学園 鹿児島医療技術専門学校 校長 原田敏彦 殿	令和6年度 第3回告示研修会
24039	2024/12/23	広告のお願いについて（ご依頼）	関係各社 所長 殿	
24040	2024/12/25	南薩地域研修会での講演について（ご依頼）	池田診療所 所長 宮田 敬博 様	第45回南薩地域研修会
24041	2024/12/26	鹿児島さくらRT研修会Tでの講師派遣のご依頼について（お願い）	長崎大学病院 医療技術部 放射線部門 技師長 福田 徹 様	鹿児島さくらRT研修会
24042	2024/12/26	鹿児島さくらRT研修会での講師派遣のご依頼について（お願い）	いまきいれ総合病院 栄養管理課 課長 上平田 美樹 様	鹿児島さくらRT研修会
24043	2024/12/26	鹿児島さくらRT研修会での講演について（ご依頼）	長崎大学病院 医療技術部 放射線部門 山口 友貴 様	鹿児島さくらRT研修会
24044	2024/12/26	度鹿児島さくらRT研修会での講演について（ご依頼）	いまきいれ総合病院 栄養管理課 鈴木 聖子 様	鹿児島さくらRT研修会
24045	2024/12/26	鹿児島さくらRT研修会での講演について（ご依頼）	鹿児島市立病院 薬剤部 係長 竹迫 秀和 様	鹿児島さくらRT研修会
24046	2025/1/9	2025年度広告掲載料請求書	株式会社ティーケービー 様 (フィリップスジャパン)	
24047	2025/1/16	大島地域研修会講師派遣のご依頼について（お願い）	県立大島病院 副院長兼放射線科部長 鐘撞 一郎 様	令和6年度大島地域研修会
24048	2025/1/16	大島地域研修会ご講演について（ご依頼）	県立大島病院 放射線科 阿久根 健太郎 様	令和6年度大島地域研修会
24049	2025/1/21	鹿児島MRI研究会での講師派遣のご依頼について（お願い）	大分大学医学部附属病院 病院長 三股 浩光 様	第29回鹿児島MRI研究会
24050	2025/1/21	鹿児島MRI研究会での講演について（ご依頼）	大分大学医学部附属病院 医療技術部放射線部門 佐賀雅憲 様	第29回鹿児島MRI研究会
24051	2025/1/29	令和7年秋の厚生労働省関係(保健衛生)叙勲及び褒章・外国人叙勲・地域総合功労候補者の推薦について（回答）	鹿児島県保健福祉部長 様	
24052	2025/2/14	2025年度広告掲載料請求書	GEヘルスケア・ジャパン 様	
24053	2025/2/14	放射線機器管理士部会研修会での講師派遣のご依頼について（お願い）	鹿児島大学病院 病院長 坂本 泰二 様	放射線機器管理士部会研修会
24054	2025/2/14	放射線機器管理士部会研修会での講師派遣のご依頼について（お願い）	鹿児島大学病院 医療技術部 放射線部門 診療放射線技師長 豊田 雅彦 様	放射線機器管理士部会研修会
24055	2025/2/14	放射線機器管理士部会研修会での講演について（ご依頼）	鹿児島大学病院 医療技術部 放射線部門 若松 重良 様	放射線機器管理士部会研修会
24056	2025/2/27	鹿児島地域研修会 講師派遣のご依頼について（お願い）	鹿児島市立病院 放射線技術科 科長 西元 辰也 様	
24057	2025/2/27	鹿児島地域研修会 講師派遣のご依頼について（お願い）	鹿児島厚生連病院 医療技術部 部長 原口 誠 様	
24058	2025/2/27	鹿児島地域研修会 講師派遣のご依頼について（お願い）	鹿児島厚生連病院 医療技術部 画像技術科 科長 西 憲文 様	
24059	2025/2/27	2025年度広告掲載料請求書	キャノンメディカルシステムズ株式会社 様	
24060	2025/2/28	2025年度広告掲載料請求書	株式会社千代田テクノル 様	

2025年3月1日時点

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 行事・活動予定

2025 年（令和 7 年）

5 月	21 日（水）	鹿児島 CT 研究会	WEB
	23 日（金）	令和 7 年度 第 1 回 理事会	相良病院・WEB
	25 日（日）	令和 7 年度 第 1 回告示研修会	鹿児島医療技術専門学校
6 月	8 日（日）	第 104 回定時総会及び春季学術大会	鹿児島市立病院・WEB
	22 日（日）	令和 7 年度 フレッシュアップセミナー	南風病院・WEB
7 月	12 日（土）	第 23 回 鹿児島県医療情報システム研究会	鹿児島市立病院・WEB
8 月	2 日（土）	令和 7 年度 鹿児島県医療画像情報精度管理士部会	未定
9 月	27 日（土）	第 46 回南薩地域研修会（仮）	県立薩南病院
10 月	12 日（日）	市民健康まつり	西原商会アリーナ
11 月	1 日（土） 2 日（日）	第 20 回九州放射線医療技術学術大会 in 鹿児島	カクイックス交流センター（かごしま県民交流センター）

漏洩線量測定事業のご案内

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会では、放射線を取扱う専門職として資格を有する団体の一般社会への利益還元事業と公益事業の一環として、放射線安全管理の啓発を兼ねた環境測定事業を実施しています。基本的には、該当施設会員と放射線管理士部会からの派遣技師と 2 名で実施する予定です。法令で規定してある測定は X 線検査室の周囲だけではなく敷地内病室、居住区域、敷地境界も測定しなければなりません。その測定方法及び測定値の取扱いについての説明も致します。また、測定事業に併せて施設の放射線管理のアドバイスも行っております。些細な事でもご相談ください。

料金は、会員がいる施設が、基本料金 2 万円＋測定料金 1 方向 5 千円、会員がいない施設は基本料金 4 万円、ただし、歯科医院等の場合は、基本料金は 2 万円となっています。

ご希望の施設がございましたら、見積等をご提示しますので下記電話メールにてご照会下さい。

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 放射線管理士部会 担当 藤崎
☎0996-23-4418（川内市医師会立市民病院放射線課）krt2@kagoshima-rt.jp

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会役員名簿

(令和 6 年度)

役職名		氏名	所属
会 長		太田原 美郎	明輝会クリニック
副会長		藤崎 拓郎	川内市医師会立市民病院
		大迫 俊一	相良病院
常務理事	総務	大迫 俊一	(兼務)
	財務	渡邊 義治	清泉クリニック整形外科内科
	学術	藤崎 誠	南風病院
	福利厚生	愛下 剛	大井病院
	広報	浮田 啓一郎	いまきいれ総合病院
	組織	木場 淳	鹿児島市医師会病院
	表彰	野中 康博	菊野病院
理事	総務	脇田 慎一	いづろ今村病院
		市来 守	今村総合病院
		東 幸浩	鹿児島医療技術専門学校
	学術	藤崎 拓郎	(兼務)
		本村 克朗	鹿児島大学病院
		吉田 紫織	相良病院
		堀上 英昭	鹿児島医療センター
		伊藤 大助	米盛病院
	広報	米重 亮馬	鹿児島市立病院
	財務	木原 悠太	鹿児島市立病院
地域理事	鹿児島	伊藤 大助	(兼務)
	北薩	前田 健一郎	川内市医師会立市民病院
	霧島・始良	坂口 右己	霧島市立医師会医療センター
	大隅	熊谷 繁夫	昭南病院
	南薩	木佐貫 克朗	加世田病院
	大島	元 俊晶	鹿児島県立大島病院
監事		池田 睦	白坂医院
		米山 光明	川内市医師会立市民病院(外部)

事務所住所 〒892-0861 鹿児島県鹿児島市東坂元 4 丁目 28-11

磁気共鳴診断装置

MAGNETOM Flow

Empowering you.

www.siemens-healthineers.com/jp

Tackle to mega challenges in MRI by technological innovations.

サステナブルで効率的な病院経営を支える

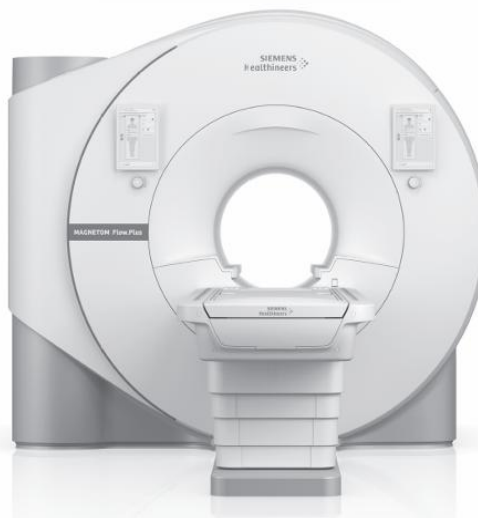
ヘリウムフリー* 1.5T MRI 装置

MAGNETOM Flowは、サステナブルな次世代型1.5T MRIプラットフォームで、日常の検査に抜本的な新しいフローをもたらします。

ヘリウムに依存しない超電導MRIの新時代を切り拓き、AIを活用した新たなイメージングプロセスを通じて、画期的なワークフローのシンプルさ、そして卓越した高品質の画像をかつてないスピードで提供します。

MAGNETOM Flowは、サステナブルで効率的なMRI検査運用を実現します。

* 液体ヘリウムは0.7リットルのみ使用



SIEMENS
Healthineers

超電導磁石式全身用MR装置 MAGNETOM フロー 認証番号: 306AABZ00051000

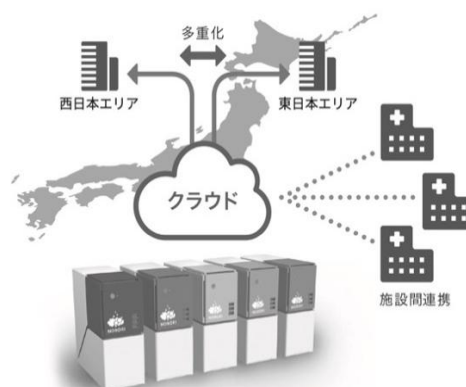


みんなの明日へ、医療情報クラウド。

NOBORI

次世代PACSは セキュアなクラウドサービスへ

「NOBORI」はIT技術によって、
画像などの医療情報を安全に保管・利用できる
新しいクラウドサービスです。



Feature

01

院内サーバ
不要

Feature

02

スピーディーな
画像参照

Feature

03

安心・安全の
データ保管

Feature

04

初期投資
ゼロ

Feature

05

障害自動検知

Feature

06

施設間連携
にも対応



PSP株式会社 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号 博多大博通ビルディング12階 TEL. 03-5657-4315 www.psp.co.jp

Canon

医療の本質を見抜く、High Resolution ADCT。

Area Detector CT「Aquilion ONE」と、
高精細 CT「Aquilion Precision」で培った技術を継承、刷新し、
超解像画像再構成技術とAIを活用した自動化技術*1を搭載。

Aquilion ONE

INSIGHT Edition



*1 自動化技術: 設計の段階で AI 技術を使用しており、本システムは自己学習機能を有しておりません。
【一般的名称】全身用X線CT診断装置 【販売名】CTスキャナ Aquilion ONE TSX-308A 【認証番号】305ACBZX00005000

B000893

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Made For life

PHILIPS

✦
Feel the freedom with
BlueSeal MRI

Better care
for more people

製造販売業者
株式会社フィリップス・ジャパン
www.philips.co.jp/healthcare

記載されている製品名などの固有名称は、Koninklijke Philips N.V. または
その他の会社の商標または登録商標です。
© 2024 Koninklijke Philips N.V



DO LESS.

マルチユース用
CTインジェクタ

24hr

連続複数回検査



CARE MORE.



MEDRAD® Centargo

CT Injection System

操作の時間は最小限に 患者さんへの思いやりは最大限に
造影検査をさまざまな角度から効率化。より多くの時間を患者さんのケアのために。
それは医療を行う上でとても大切なこと、MEDRAD® Centargoが目指すこれからの検査のかたち。

Clear Direction. ➤ From Diagnosis to Care.

PP-M-CEN-JP-0112-19-01

管理医療機器 / 多相電動式造影剤注入装置
販売名 / Centargo CTインジェクションシステム
認証番号 / 302AABZX00091000

製品に関する詳細情報は、各製品の取扱説明書、添付文書をご参照ください。

お問合せ
サービスコール

0120-60-9040

..... 24時間サービスコール対応

製造販売業者

バイエル薬品株式会社

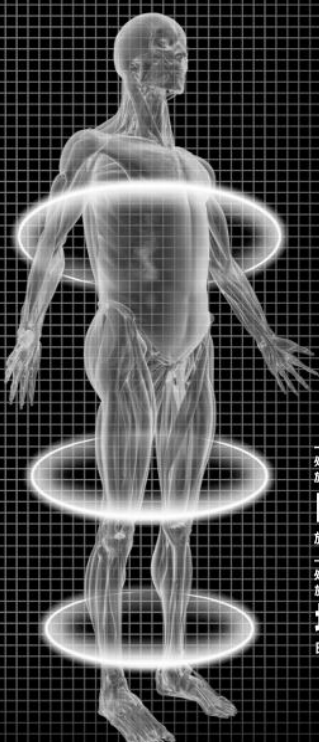
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001

E-Mail: BYL-RAD-CS@bayer.com



製品の詳細は、
二次元コードから
弊社Webサイトで
ご覧いただけます。

nihon
medi+physics



PET/SPECT

処方箋医薬品[※]
放射性医薬品・悪性腫瘍診断薬、虚血性心疾患診断薬、てんかん診断薬

FDGスキャン[®]注

放射性医薬品基準フルデオキシグルコース (¹⁸F) 注射液

処方箋医薬品[※]
放射性医薬品・心臓疾患診断薬・甲状腺疾患診断薬・腫瘍（脳、甲状腺、肺、骨・軟部、乳房）診断薬

塩化タリウム (²⁰¹Tl) 注NMP

日本薬局方塩化タリウム (²⁰¹Tl) 注射液

処方箋医薬品[※]
放射性医薬品・悪性腫瘍診断薬、炎症性疾患診断薬

クエン酸ガリウム (⁶⁷Ga) 注NMP

日本薬局方クエン酸ガリウム (⁶⁷Ga) 注射液

処方箋医薬品[※]
放射性医薬品・骨疾患診断薬

クリアボーン[®]注

放射性医薬品基準ヒドロキシメチレンジホスホン酸テクネチウム (^{99m}Tc) 注射液

※：登録商標
注）注意・医師等の処方箋により使用すること

■ 効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。

製造販売元

 **日本メジフィジックス株式会社**

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号

文献請求先及び問い合わせ先  0120-07-6941

弊社ホームページの「医療関係者専用情報」サイトで
SPECT・PET検査について紹介しています。

<https://www.nmp.co.jp>

2024年12月改訂

Nemoto

DUAL SHOT GX10

CT CONTRAST DELIVERY SYSTEM

NEW

販売名: 造影剤自動注入装置 デュアルショット GX10 / 認証番号: 304AHBZX00011Z00

株式会社 **根本杏林堂**

製造販売元: 埼玉県川口市青木2-12-23 / 販売元: 東京都文京区本郷2-27-20

※本製品の仕様及び外観は予告なしに変更する場合がありますのでご了承下さい。



KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas

多様な視点で未来をデザインする
RETHINK WHAT'S POSSIBLE

バッテリー内蔵“1.9kg”の軽量設計
迅速なワークフローを実現

超 軽 量 高 感 度 高 耐 久

AeroDR swift
1417HL

軽量化・把持性・高画質で、カセット撮影に変革を

バッテリー内蔵1.9kg	100μm画素/DQE59%*1	全周くぼみ設計
MIL規格*2	防水・防塵IP56*3	高耐久抗菌設計*4

AeroDR swiftは『デジタルラジオグラフィーSKR3000』を構成するP-85(製造販売認証番号:228ABBZX00115000)の呼称です。

★KONICAMINOLTAロゴ、シンボルマークは、日本及びその他の国におけるコニカミノルタ株式会社の登録商標です。★AeroDR swiftは、日本及びその他の国におけるコニカミノルタ株式会社の登録商標または商標です。★その他記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。*1: 1mR, 1cycle/mm(DQEの数値はTypical値です。)*2: Method 516.7 Procedure IV Transit Drop(122cm(48インチ)の高さから、合板の上に6平面、12線、8頂点、計26箇所を各1回落下させる。)本製品の耐衝撃性能は、無破損・無故障を保障するものではありません。*3: IP規格(防水・防塵規格)は、IEC(国際電気標準化会議)によって定められています。本製品の防水・防塵性能は、完全防水・防塵、無破損・無故障を保障するものではありません。*4: 抗菌効果は全ての面に有効ということではありません。また、抗菌は感染を完全に防げるわけではありません。

製造販売元: コニカミノルタ株式会社 販売元: コニカミノルタ ジャパン株式会社 105-0023 東京都港区芝浦1-1-1 <http://www.konicaminolta.jp/healthcare>





SONIALVISION G4 edition



製造販売認証番号 224AB8ZX00052000

据置型デジタル式汎用X線透視診断装置 (X線テレビシステム SONIALVISION G4)

据置型デジタル式汎用X線診断装置※、X線平面検出器出力読取式デジタルラジオグラフィ※

二重エネルギー骨X線吸収測定装置※、管理医療機器、特定保守管理医療機器、設置管理医療機器

※本医療機器は複数の一般的な名称に該当します。



株式会社 島津製作所 医用機器事業部
<https://www.med.shimadzu.co.jp>

お客様へ、正しさに基づく安心を
ご提供いたします。

TECHNOL

校正技術能力

年に1回

品質システム
維持能力

維持管理能力

放射線測定器の校正を済ませましょう

正しい測定、確実な放射線・放射能管理を行うためには、使用する測定器が定期的に校正されている必要があります。弊社大洗研究所は、計量法に基づく、校正事業者登録制度(JCSS)におけるγ線の登録業者です。国家標準とトレーサビリティが取れており、信頼性の高い校正サービスを提供いたします。



大洗研究所では、1972年から放射線標準を保有。計量法校正事業者登録制度(JCSS)におけるγ線の校正事業者として登録。また、国際MRA対応認定事業者として、国際相互承認(Mutual Recognition Arrangement)加盟国に適用する認定マーク付きの校正証明書が発行可能です。

●弊社校正サービスは、ISO9001の要求事項(監視および計測機器の管理)に有効に活用できます。

※詳しくは下記までお問い合わせください。

放射線測定器校正サービス(一般校正)

放射線測定器校正

お問い合わせは

株式会社 千代田テクノル

E-mail: ctc-master@c-technol.co.jp

<https://www.c-technol.co.jp>

Creating a world where
healthcare has no limits



GE HealthCare

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

カスタマー・コールセンター 0120-202-021

【受付時間】 9:00~18:00 ※土・日・祝を除く

gehealthcare.com

JB09455.JA

システムに
求められるもの
それは
労力なしでプラスα

私たちメディカルクリエイトが、
放射線業務を力強くトータル支援。

4つの管理



＜放射線業務を力強くサポートするシリーズ＞

<http://www.medical-create.com>



MEDICAL CREATE

株式会社メディカルクリエイト

TEL 082・568・1920 FAX 082・263・1586

〒732-0827 広島市南区福荷町1-1 ロイヤルタワー 504 営業所(東京・大阪・中四国・福岡・東北・開発センター)

超音波骨密度測定装置

販売名: 超音波骨密度測定装置EchoSシステム
承認番号: 30200BZX00264000

EchoS システム

測定方法

REMS法
Radiofrequency Echographic
Multi-Spectrometry

腰椎と大腿骨を測定する超音波骨密度測定装置
汎用超音波検査機能をオプションでオールインワン

診療報酬

D217 骨塩定量検査
2 REMS法(腰椎)
REMS法による腰椎検査140点



REMS法による
大腿骨同時検査加算55点



EchoS PLUS



EchoStation

D217 骨塩定量検査 2 REMS法(腰椎)	REMS法による腰椎検査 REMS法による大腿骨同時検査加算	140点 55点
----------------------------	-----------------------------------	-------------

製造販売元

東洋メディック株式会社



For All Your Tomorrows

TOYO MEDIC

詳細は、弊社担当者またはこちらからお問い合わせください。

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3丁目8-5 住友不動産飯田橋駅前ビル

TEL: (03) 6825-1645 / E-mail: info@toyo-medico.co.jp / http://www.toyo-medico.co.jp



FUJIFILM

Value from Innovation

液体ヘリウムを まったく使わない 超電導MRI

専用の冷却機構を持ったZeroHeliumマグネットと
磁場コントロールシステム「ZeroHeliumテクノロジー」を採用。
液体ヘリウムをまったく使用せず極低温状態を維持します。
液体ヘリウムによるクエンチ爆発※は発生しません。

「ZeroHelium」で吸着事故や災害時への不安、
復旧にかかる時間とコストの低減へ。

販売名: MRイメージング装置 ECHELON Smart
医療機器認証番号: 229AB8ZX00028000

●FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。●ECHELON Smartは、富士フイルムヘルスケア株式会社の登録商標です。●ECHELON Smart ZeroHeliumはZeroHeliumマグネットを搭載したモデルの呼称です。●仕様および外観は予告なく変更されることがあります。●本製品では一部再生資源を使用場合があります。●装置の正しい使用のため、必ず「取扱説明書」「電子化された添付文書」をお読みください。●本機器は、特定保守管理医療機器、設置管理医療機器に該当する医療機器です。●本医療機器は販売・貸与には販売業・貸与業の許可が必要です。●本機能はクラス2レーザー製品です。●オプション品を含みます。

ECHELON Smart ZeroHelium



REiLi

※超電導状態を失った時の爆発的なヘリウムの放出を表現しています

FUJIFILM

富士フイルムヘルスケア株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂九丁目7番3号
https://www.fujifilm.com/jhc

第 104 回
公益社団法人
鹿児島県診療放射線技師会

定 時 総 会 資 料



日時：令和 7 年 6 月 8 日（日）10:30～12:00

会場：鹿児島市立病院 1 階 多目的ホール

Web 併用開催

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

目 次

総会次第	1
令和6年度活動報告総括	2
令和6年度事業報告	3
令和6年度決算報告	
貸借対照表	7
貸借対照表内訳表	8
正味財産増減計算書	9
正味財産増減計算書内訳表	11
財務諸表に対する注記 附属明細書	13
財産目録	14
令和6年度監査報告書	15
令和7年度事業計画	16
令和7年度収支予算書	18

令和 6 年度事業報告

総括

令和 6 年度も、前年度と同様に、本会創立の目的である「診療放射線学および診療放射線に関する技術の向上・発展」ならびに「県民保健の維持・発展への寄与」を目指し、各種事業を実施いたしました。

本年度は、WEB 開催に加え、対面との併用開催を中心に事業を展開することができました。

主な活動として、告示研修を 3 回実施し、業務拡大に対応するための統一講習会も開催いたしました。また、毎年恒例のフレッシューズセミナー、春季学術大会、秋季学術大会、鹿児島市夜間急病センター当直者研修会、市民健康まつり、原子力防災訓練への参加、さらには各種表彰申請を行いました。さらに、大隅地域・北薩地域・南薩地域において地域研修会を開催し、鹿児島地域研修会では、初の試みとして学術賞授賞式を執り行いました。春季学術大会においては、小野孝二先生をお招きし、「医師の働き方改革に伴うタスクシフト・シェアに関する諸事情と医療職の将来の需要予測」について、ご講演を賜りました。

研究会活動は、鹿児島 CT 研究会を 3 回、鹿児島 MRI 研究会を 2 回、鹿児島県消化器画像研究会と鹿児島超音波研究会の合同大会 2 回、鹿児島県消化器画像研究会と鹿児島超音波研究会は単独でも 1 回、鹿児島乳腺画像研究会を 1 回実施しています。

管理士部会の研修会は放射線機器管理士部会研修会、画像情報管理士部会研修会、放射線管理士部会研修会それぞれ 1 回開催おこなった。

令和 6 年度に計画していたすべての事業を実施することは叶いませんでしたが、今後も対面と WEB を併用した開催方式を基本とし、会員の皆様にとって参加しやすく、意義のある事業運営を継続してまいります。

1. 生涯学習の推進

安全で質の高い医療の提供を求める県民の負託に応えるためには、卒後教育が重要である。また、大きく変化していく診療放射線技術や社会情勢に対応すべく生涯学習の推進に努めた。

2. フレッシュヤーズセミナーの開催

日時: 令和6年7月28日(日)9:00～13:30

配信元: 相良病院／ハイブリッド開催

参加人数: 18名

(フレッシュヤーズ9名、会員8名、学生1名)

(会場参加会員13名、Web参加会員5名)

講師: 伊藤 大助、太田原 美郎、脇田 真一、
藤崎 誠、東 幸浩、大迫 俊一

3. リーダー及びリーダー育成研修会

令和6年度 リーダー及びリーダー育成研修会

未実施(講師と日程が合わず)

4. レントゲン週間に放射線展の開催

未実施

5. 特別企画の実施

未実施

6. 地域研修会の実施

6地域(鹿児島地域、南薩地域、北薩地域、霧島・始良地域、大隅地域、大島地域)のうち大島地域において試験的に現地とWEBのHybrid研修会を地域理事の企画において開催した。また、開催の規模や頻度に応じた助成を行った。

鹿児島地域

令和6年度鹿児島地域研修会(学術賞授賞式)

日時: 令和7年3月22日(土)15:00～16:30

開催場所: 相良病院／ハイブリッド

参加人数: 40名(Web参加26名)

(会員40名、非会員0名)

内容: 授賞式、受賞講演会: 2名

南薩地域

第44回 南薩地域研修会

日時: 令和6年9月28日(土)15:00～18:00

開催場所: 県立薩南病院／対面のみ

参加人数: 28名

(会員19名、非会員0名、メーカー5名、
学生2名、一般2名)

内容: 会員発表: 2演題、メーカー講演: 2演題
特別講演: 1演題

第45回 南薩地域研修会

日時: 令和7年3月1日(土)

開催場所: 指宿浩然会病院／ハイブリッド

参加人数: 34名

(会員29名、非会員2名、メーカー3名)

(会場参加会員19名、Web参加会員15名)

内容: 会員発表: 2演題、メーカー講演: 1演題、
特別講演: 1演題

北薩地域

第33回 北薩地域研修会

日時: 令和6年11月30日(土)

(第33回秋季学術大会と合同開催に記載)

霧島始良地域

令和6年度 霧島・始良地域研修会

日時: 令和7年2月15日(土)

開催場所: 霧島市立医師会医療センター／対面のみ

参加人数: 33名

(会員31名、非会員2名、メーカー0名)

内容: 会員発表: 2演題、ミニセミナー: 1演題
シンポジウム: 5演題、施設見学

大隅地域

第51回 大隅地域研修会

日時: 令和6年9月28日(木)14:30～18:00

開催場所: 鹿屋医療センター／ハイブリッド

参加人数: 51名(Web参加15名)

(会員37名、他職種3名、メーカー11名)

内容: 会員発表: 3演題、話題提供: 4演題、
教育講演: 1演題、

大島地域

令和6年度 大島地域研修会

日時: 令和7年2月15日(土)14:00～17:00

開催場所: 県立大島病院

参加人数: 17名

(会員14名、非会員2名、他職種1名)

内容: メーカー講演: 1演題

会員発表: 2演題、教育講演: 1演題

7. 学術大会の実施

令和6年度 鹿児島県診療放射線技師会秋季学術大会特別講演、春季学術大会

日時: 令和5年6月16日(日)13:00～16:00

配信元: 相良病院／ハイブリッド

参加人数: 49名(Web参加20名)

(会員49名、非会員4名)

内容: 特別講演: 1演題、会員発表: 4演題

特別講演:

「医師の働き方改革に伴うタスクシフト・シェアに関する諸事情と医療職の将来の需要予測」

小野孝二先生(東京医療保健大学大学院 看護学研究科 教授)

第33回 北薩地域研修会・

鹿児島県診療放射線技師会秋季学術大会

日時:令和6年11月30日(土)13:00~17:00

配信元:川内市医師会立市民病院／ハイブリッド

参加人数:46名(Web参加25名)

(会員40名、非会員0名、メーカー6名)

内容:教育講演:2演題、情報提供:2演題、

会員報告:4演題、特別講演:1演題

8. 各研究会の実施

鹿児島消化器画像研究会、鹿児島超音波研究会、鹿児島CT研究会、鹿児島MRI研究会、鹿児島乳腺画像研究会、鹿児島X線撮影研究会を鹿児島県診療放射線技師会の事業とし、研究会の充実を図るとともに非会員に対して入会の勧誘を積極的に行う。また、各研究会の活動が充実していくための助成を行った。

鹿児島消化器画像研究会、

鹿児島超音波研究会

第76回 鹿児島消化器画像研究会

第26回 鹿児島超音波研究会 合同開催

日時:令和6年10月23日(水)18:30~20:00

配信元:南風病院／Webのみ

参加人数:48名

(会員45名、非会員1名、他職種2名)

内容:会員報告:6演題

第77回 鹿児島消化器画像研究会

第27回 鹿児島超音波研究会

日時:令和7年2月19日(水)18:30~20:00

配信元:南風病院／Webのみ

参加人数:48名

(会員45名、非会員1名、他職種2名)

内容:会員発表:6演題

鹿児島消化器画像研究会

第75回 鹿児島消化器画像研究会

日時:令和6年7月6日(土)15:00~17:00

開催場所:鹿児島共済会 南風病院／対面のみ

参加人数:18名(会員16名、メーカー2名)

内容:教育講演:2演題、症例報告:2演題

鹿児島超音波研究会

第25回 鹿児島超音波研究会

日時:令和6年8月21日(水)18:30~20:00

配信元:霧島市立医師会医療センター／Webのみ

参加人数:32名

(会員30名、非会員1名、他職種1名)

内容:教育講演:1演題、症例報告:2演題

鹿児島CT研究会

第58回 鹿児島CT研究会

日時:令和6年5月15日(水)18:30~20:30

配信元:鹿児島厚生連病院／Webのみ

参加人数:105名

(会員93名、非会員0名、メーカー12社)

内容:話題提供:2演題、情報提供(メーカー):5演題

第59回 鹿児島CT研究会

日時:令和6年9月26日(木)19:00~21:00

配信元:今村総合病院／Webのみ

参加人数:108名(会員107名、非会員1名)

内容:情報提供(メーカー):1演題、

施設発表:4演題、特別講演:1演題

第60回 鹿児島CT研究会

日時:令和7年1月11日(土)15:00~18:00

開催場所:鹿児島市立病院／ハイブリッド

参加人数:60名(Web参加45名)

(会員58名、メーカー2名)

内容:施設紹介:1施設、アンケート報告

施設発表:4演題

鹿児島MRI研究会

第28回 鹿児島MRI研究会

日時:令和6年8月30日(金)18:30~20:00

配信元:鹿児島大学病院／Webのみ

参加人数:38名

(会員37名、非会員0名、メーカー1名)

内容:基礎講座:1演題、特別講演:1演題

第29回 鹿児島MRI研究会

日時:令和7年3月14日(木)18:30~20:00

配信元:鹿児島大学病院／Webのみ

参加人数:40名(会員37名、メーカー3名)

内容:メーカー講演:1演題、特別講演:1演題

鹿児島乳腺画像研究会

令和6年度 鹿児島乳腺画像研究会

日時:令和6年12月5日(木)18:00~20:00

配信元:鹿児島市立病院／ハイブリッド

参加人数:68名(Web参加57名)

(会員57名、非会員3名、メーカー8名)

内容:メーカー講演:1演題、特別講演:1演題

9. 管理士部会による研修会開催

安全で質の高い医療を提供するためには、放射線管理・機器管理・画像情報管理を適正に行うことが不可欠である。これらの管理は、日々の業務の中で継続的に実践することが重要である。より効率的な管理を行ううえで必要な講習会を管理士部会主催で開催した。

鹿児島県放射線管理士部会

令和6年度 放射線機器管理支部会研修会

日時:令和6年5月23日(木) 18:30~19:30

配信元:坂元事務所/Webのみ

参加人数:29名

(会員25名、学生3名、他職種1名)

内容:特別講演:1演題

令和6年度 放射線機器管理支部会研修会

日時:令和7年3月10日(月) 18:30~20:30

配信元:川内市医師会立市民病院/Webのみ

参加人数:40名

(会員29名、他職種2名、メーカー9名)

内容:メーカー教育講演:2演題

情報提供:メーカー1演題、会員1演題

鹿児島県医療画像情報精度管理士部会

令和6年度鹿児島県医療画像情報精度管理士部会

日時:令和7年2月28日(金) 18:30~20:30

配信元:ひらやま脳神経外科/Webのみ

参加人数:66名

(会員49名、他職種9名、メーカー8名)

内容:メーカー発表:3演題、施設報告:4演題

10. 鹿児島さくら RT

令和6年度 鹿児島さくら RT 研修会

日時:令和7年2月27日(木) 19:00~21:00

配信元:さがらパース通りクリニック/Webのみ

参加人数:43名 (会員39名、他職種4名)

内容:話題提供:2演題、講演:2演題

11. ホームページの活用促進

ホームページの更新に伴い内容の充実を図り、会員、県民に積極的に情報を発信した。また各地域からも情報発信しやすいシステムを構築した。

今年度は会員専用のページや各種申請のオンライン手続きを開始した。また、鹿児島診療放射線技師会専用LINEでJARTからの情報や研究会等案内を行った。

12. 各種イベント等への積極的参加・協力

他関係団体との共催である市民健康まつり等に積極的に参加し、他職種との連携を深めるとともに公益法人としての社会的役割を果たした。

○市民健康まつり

今年度は、10月26日(土)に宝山ホールにて市民健康まつりが開催。今年は、4年に1度の講演会の年なので、会場誘導としてスタッフ2名が参加。

来場者数は約900名の参加人数があった。

○つながる想い in かごしま

今年度は、5月12日(日)にかごしま県民交流センター・県政記念公園で開催。講演会、バルーンリリース、アート展などを行っています。鹿児島県診療放射線技師会は今年度も後援を行った。

○ピンクリボン in Kagoshima

今年度も、昨年度に引き続きリーフレット作成および配布などを通して乳がん検診の普及に対する活動絵の協賛を行った。

13. 原子力防災支援

原子力災害時に適正かつ迅速に対応するために必要な研修に出席した。また、県が開催する原子力防災訓練に参画し、放射線に関する専門家としての放射線技師の存在を誇示した。

(原子力防災訓練)

令和6年度 鹿児島県原子力防災訓練

今年度は、県内3会場で行われた避難退域時検査実施訓練に参加。

日時:令和7年2月16日(日)

場所(参加人数):

中甕会場:中甕漁港(6名)

出水会場:出水市総合運動公園(3名)

始良会場:県森林技術総合センター(7名)

内容:指定箇所検査・確認検査

14. 地域保健協力事業

鹿児島市医師会より委託を受けた鹿児島市夜間急病センター放射線業務に対して、診療放射線技師を派遣する。業務の安全ならびに質の高い画像情報を提供するために必要な連絡調整会議を開催した。

派遣登録者数:21名(令和7年3月30日時点21名)

令和6年度 第1回 夜間急病センター研修会

日時:令和6年8月20日(火) 18:30~19:30

場所:Web開催

対象:派遣登録者(全員)、一般会員

参加人数:32名

(夜間急病センター当直者20名、一般会員9名、メーカー3名)

令和6年度 第2回 鹿児島市夜間急病センター当直者研修会

日時:令和7年2月12日(水) 18:30~19:30

開催場所:鹿児島市精神保健福祉交流センター

参加人数:21名(急病センター当直者21名)

内容:急病センター撮影に関するディスカッション

令和6年度 第3回 夜間急病センター研修会

(鹿児島地域研修会:合同開催)

日時:令和7年3月22日(土) 15:00～16:30
開催場所:相良病院／ハイブリッド
対象:派遣登録者(全員)
参加者:21名

第1回 連絡調整会議
日時:令和6年8月20日(土) 19:30～20:00
場所:Web 開催
対象:派遣登録者(全員)
参加人数:20名

第2回 連絡調整会議
令和7年2月12日(水) 19:30～20:00
開催場所:鹿児島市精神保健福祉交流センター
対象:派遣登録者(全員)
参加人数:21名

第3回 連絡調整会議
日時:令和7年3月22日(土) 16:30～17:00
開催場所:相良病院／ハイブリッド
対象:派遣登録者(全員)
参加人数:21名

15. その他の事業

環境測定事業

日時:令和6年9月、令和7年3月
施設:ふくい耳鼻咽喉科クリニック
測定者:奥 好史

日時:令和6年9月、令和7年3月
施設:耳鼻咽喉科田上クリニック
測定者:西元辰也・隈浩司

出版事業(年3回発行)

令和6年05月:第139号会報発行
令和6年09月:第140号会報発行
令和7年01月:第141号会報発行

組織拡大事業

フレッシュャーズセミナー、各支部研修会、各研究会等にて会員勧誘を実施した。
また、今年度は新たに鹿児島医療技術専門学校の4年生を対象に、診療放射線技師会の活動報告と入会の案内を行った。

診療放射線技師会活動報告と入会案内
日時:令和7年3月5日(水) 10:00～11:00
配信元:相良病院(WEB 配信)
対象:鹿児島医療技術専門学校 診療放射線学科
4年生(全員)・既卒生
参加人数:46名

医療被ばく低減事業

未実施

関連団体との連携

「告示研修」の実施など公益社団法人日本診療放射線技師会や他関連団体との協力事業を推進し、連携の強化を図った。

令和6年厚生労働省告示第273号研修における実技研修会(告示研修会)
会場:鹿児島医療技術専門学校 平川キャンパス
対象:診療放射線技師
* 今年度から年3回へ変更

令和6年度 第1回 告示研修会
日時:令和6年8月11日(日) 8:00～18:00
参加人数:47名(会員44名、非会員3名)

令和6年度 第2回 告示研修会
日時:令和6年10月13日(日) 9:00～18:00
参加人数:47名(会員37名、非会員12名)

令和6年度 第3回 告示研修
日時:令和7年1月12日(日) 7:30～18:30
参加人数:35名(会員29名、非会員6名)

業務拡大に伴う統一講習会
日時:令和6年11月10日(日) 8:00～18:00
令和6年11月17日(日) 8:00～18:00
場所:鹿児島医療技術専門学校 平川キャンパス
参加人数:16名(会員15名、非会員1名)

サテライト事業

Web 配信による研修会、講演会等を開催する。
各研究会、各管理支部会等:23回
総会、理事会、各種会議等:39回

令和6年度 理事会・常務理事会

第1回 理事会:令和6年06月02日(日)
第2回 理事会:令和6年10月26日(木)
第3回 理事会:令和6年12月14日(土)
第4回 理事会:令和7年03月02日(土)
第1回 常務理事会:令和6年09月10日(火)
第2回 常務理事会:令和6年11月26日(火)
第3回 常務理事会:令和7年02月06日(木)

貸借対照表

令和 7 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,062,080	772,968	289,112
流動資産合計	1,062,080	772,968	289,112
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	7,900,000	7,900,000	0
建物	1,948,760	2,356,640	△ 407,880
基本財産合計	9,848,760	10,256,640	△ 407,880
(2) 特定資産			
事務所建替資産	14,327,880	14,325,742	2,138
特定資産合計	14,327,880	14,325,742	2,138
(3) その他固定資産			
什器備品	128,146	425,200	△ 297,054
その他の固定資産合計	128,146	425,200	△ 297,054
固定資産合計	24,304,786	25,007,582	△ 702,796
資産合計	25,366,866	25,780,550	△ 413,684
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	150,000	60,000	90,000
流動負債合計	150,000	60,000	90,000
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	150,000	60,000	90,000
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(2) その他一般正味財産	25,216,866	25,720,550	△ 503,684
一般正味財産	25,216,866	25,720,550	△ 503,684
正味財産合計			
負債及び正味財産合計	25,366,866	25,780,550	△ 413,684

(1-2)

貸 借 対 照 表 内 訳 表
令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益事業会計	法人会計	合計
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	0	1,062,080	1,062,080
未収会費	0		0
未収負担金			0
会計間貸借勘定	1,587,163	△ 1,587,163	0
流動資産合計	1,587,163	△ 525,083	1,062,080
2. 固定資産			0
(1) 基本財産			0
土地	4,740,000	3,160,000	7,900,000
建物	1,169,256	779,504	1,948,760
基本財産合計	5,909,256	3,939,504	9,848,760
(2) 特定資産			0
事務所建替積立資産	8,596,728	5,731,152	14,327,880
特定資産合計	8,596,728	5,731,152	14,327,880
(3) その他固定資産			0
什器備品	128,143	3	128,146
			0
その他固定資産合計	128,143	3	128,146
固定資産合計	14,634,127	9,670,659	24,304,786
資産合計	16,221,290	9,145,576	25,366,866
			0
II 負債の部			0
1. 流動負債	0	0	0
前受金	150,000	0	150,000
流動負債合計	150,000	0	150,000
2. 固定負債			0
			0
固定負債合計	0	0	0
負債合計			0
III 正味財産の部			0
1. 指定正味財産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
			0
2. 一般正味財産			0
一般正味財産合計	16,071,290	9,145,576	25,216,866
正味財産合計	16,071,290	9,145,576	25,216,866
負債及び正味財産合計	16,221,290	9,145,576	25,366,866

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	2,082	1,008	1,074
受取入会金			
受取会費			
正会員会費	4,283,000	4,120,980	162,020
九州地域放射線技師会会費	318,500	303,500	
事業収益			
研修会会費	119,870	155,559	△ 35,689
広告収益	330,000	330,000	0
環境測定事業	25,000	48,700	△ 23,700
業務委託収益			
日本放射線技師会業務委託	102,000	95,800	6,200
受取負担金			
市医師会負担金	292,000	292,800	△ 800
受取寄付金			
雑収益			
受取利息	493	7	486
雑収益	30,961	80,516	△ 49,555
経常収益計	5,503,906	5,428,870	75,036
(2) 経常費用			
事業費	4,795,308	5,516,335	△ 721,027
福利厚生費費	63,900	0	63,900
広告宣伝費	320,000	370,000	△ 50,000
旅費交通費	675,690	949,257	△ 273,567
通信運搬費	992,824	546,152	446,672
消耗品費	92,783	199,130	△ 106,347
印刷製本費	728,653	997,810	△ 269,157
修繕費	0	60,500	△ 60,500
光熱水料費	0	0	0
賃借料	4,950	82,400	△ 77,450
諸謝金	1,007,000	1,122,196	△ 115,196
支払手数料	171,385	226,056	△ 54,671
租税公課	1,800	36,350	△ 34,550
寄付金	0	50,000	△ 50,000
会議費	168,673	178,432	△ 9,759
減価償却費	297,054	371,651	△ 74,597
雑費	270,596	326,401	△ 55,805
管理費	1,212,282	1,495,353	△ 283,071
広告宣伝費	66,000	66,000	0
会議費	57,237	73,300	△ 16,063
旅費交通費	24,000	77,400	△ 53,400
通信運搬費	54,688	227,890	△ 173,202
消耗品費	31,186	15,557	15,629
光熱水料費	123,285	125,500	△ 2,215
保険料	72,546	72,546	0
九州地域放射線技師会負担金	307,000	298,000	9,000
租税公課	39,200	41,700	△ 2,500
支払手数料	29,260	28,215	1,045
減価償却費	407,880	407,880	0
雑費	0	61,365	△ 61,365
経常費用計	6,007,590	7,011,688	△ 1,004,098

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
評価損益調整前経常増減額	△ 503,684	△ 1,582,818	1,079,134
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 503,684	△ 1,582,818	1,079,134
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 503,684	△ 1,582,818	1,079,134
一般正味財産期首残高	25,720,550	27,303,368	△ 1,582,818
一般正味財産期末残高	25,216,866	25,720,550	△ 503,684
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	25,216,866	25,720,550	△ 503,684

正味財産増減計算書内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	1,250	832	2,082
受取入金	0	0	
受取会費			
正会員会費	2,141,500	2,141,500	4,283,000
九州地域放射線技師会会費	159,250	159,250	318,500
事業収益			
研修会会費	119,870	0	119,870
広告収益	330,000	0	330,000
環境測定事業	25,000	0	25,000
業務委託収益			0
日本放射線技師会業務委託	102,000	0	102,000
受取負担金			0
市医師会負担金	292,000	0	292,000
雑収益			0
受取利息	33	460	493
雑収益		30,961	30,961
経常収益計	3,170,903	2,333,003	5,503,906
(2) 経常費用			
事業費	3,950,778	844,530	4,795,308
福利厚生費	63,900		63,900
広告宣伝費	320,000		320,000
旅費交通費	504,390	171,300	675,690
通信運搬費	900,466	92,358	992,824
消耗品費	92,783		92,783
印刷製本費	728,653		728,653
賃借料	4,950		4,950
諸謝金	683,000	324,000	1,007,000
支払手数料	137,964	33,421	171,385
租税公課	0	1,800	1,800
会議費	18,932	149,741	168,673
減価償却費	297,054	0	297,054
雑費	198,686	71,910	270,596
管理費	696,670	515,612	1,212,282
広告宣伝費	39,600	26,400	66,000
会議費	34,342	22,895	57,237
旅費交通費	14,400	9,600	24,000
通信運搬費	32,813	21,875	54,688
消耗品費	18,712	12,474	31,186
光熱水料費	73,971	49,314	123,285
保険料	43,528	29,018	72,546
九州地域放射線技師会負担金	153,500	153,500	307,000
租税公課	23,520	15,680	39,200
支払手数料	17,556	11,704	29,260
減価償却費	244,728	163,152	407,880
経常費用計	4,647,448	1,360,142	6,007,590
評価損益調整前経常増減額	△ 1,476,545	972,861	△ 503,684
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,476,545	972,861	△ 503,684
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0

(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,476,545	972,861	△ 503,684
他会計振替額	465,945	△ 465,945	0
一般正味財産期首残高	17,081,890	8,638,660	25,720,550
一般正味財産期末残高	16,071,290	9,145,576	25,216,866
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	16,071,290	9,145,576	25,216,866

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
定額法によっています。
- (2) 消費税等の会計処理
消費税の納税義務はありません。

2. 会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高
【基本財産】				
土地	7,900,000	0	0	7,900,000
建物	1,948,760	0		1,948,760
小計	9,848,760	0	0	9,848,760
【特定資産】				
事務所建替積立資産	14,327,880		0	14,327,880
小計	14,327,880	0	0	14,327,880
合計	24,176,640	0	0	24,176,640

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
【基本財産】				
土地	7,900,000		7,900,000	
建物	1,948,760	—	1,948,760	
小計	9,848,760	—	9,848,760	—
【特定資産】				
事務所建替積立資産	14,327,880	—	14,327,880	—
小計	14,327,880	—	14,327,880	—
合計	24,176,640	—	24,176,640	—

5. 担保に供している資産

該当事項はありません。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高	備考
建物	11,330,000	9,381,240	1,948,760	
什器備品	5,072,040	4,943,894	128,146	
合計	16,402,040	14,325,134	2,076,906	

7. 重要な後発事象

該当する事項はありません。

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載

2. 引当金等の明細

該当事項はありません

財 産 目 録

令和7年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)				
	現金	手許保管	運転資金	116,761
	預金	普通預金 鹿児島銀行	運転資金	437,440
		郵便振替口座		507,879
流動資産合計				1,062,080
(固定資産)				
基本財産	土地	132.24㎡	60%は公益目的事業に使用	7,900,000
	建物	67.9㎡	40%は管理業務に使用	1,948,760
特定資産	事務所建替資産	定期郵便貯金	事務所建替の財源として	
		郵便振替口座	積み立てている資産取得資金	14,327,880
その他固定資産	什器備品		公益事業及び管理業務に使用	128,146
固定資産合計				24,304,786
資産合計				25,366,866
(流動負債)				
	前受金	広告収入次年度分		150,000
流動負債合計				150,000
(固定負債)				
固定負債合計				
負債合計				150,000
正味財産				25,216,866

令和 6 年度 監査報告書

令和 7 年 4 月 23 日

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会

会 長 太田原 美郎 殿

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会

監 事 米山 光明



監 事 池田 睦



監事両名は、令和 6 年度の技師会運営に関する監査を技師会事務所において実施し、協議の上、この監査報告を作成したので以下の通り報告する。

記

1. 監査の概要

理事会に出席するほか、会長及び担当理事から技師会運営に関する報告を受け、会務執行、事業計画及び会計処理について監査した。

2. 監査の結果

(1) 会務執行

会員の異動状況報告、各種の議事録、文書綴りを閲覧した結果、定款及び総会決議に違反する事実は認められず的確に処理されていることを認める。

(2) 事業について

事業計画に基づき、順調に執行運営されていることを認める。

(3) 会計処理

収支状況について収支計算書ならびに証拠書類などを審査した結果、不整の連は認められず、諸帳簿類の記載ならびに会計処理は間違いなく処理されていることを認める。

(4) その他

特に指摘する事項は認められない。

以上

令和7年度事業計画

鹿児島県診療放射線技師会は令和7年度も公益社団法人として、前年度と同じように公益社団法人にふさわしい事業を行います。今年度も現地とWEB開催を併用するなど積極的な活動を行いたいと考えております。

公益事業として、「つながる想い in かごしま」およびピンクリボンイベントへ参画し、がん患者さんへの理解とイベントのサポートを行います。また、市民公開のレントゲン週間イベントにつきましては、市民公開講座の開催を予定いたしております。これらの活動を通して、診療放射線技師並びに鹿児島県診療放射線技師会の啓発を行ってまいります。

定例事業としましては、フレッシュャーズセミナー、リーダー及びリーダー育成研修会、春季並びに秋季学術大会の開催を予定しており、春季は鹿児島市で秋季は霧島・始良地域で開催いたします。また、各地域研修会、研究会並びに管理士部会、そして鹿児島さくらRTの集い等も例年同様に開催いたします。

令和7年度の原子力防災訓練には鹿児島県診療放射線技師会も参加予定です。地域保健協力事業として引き続き鹿児島市夜間急病センター支援事業を行い、担当者による研修会も3回以上予定です。

上記の通り、鹿児島県内の診療放射線技師の職業倫理の高揚と資質の向上並びに鹿児島県民の健康増進に寄与する事業を行います。令和7年度も鹿児島県診療放射線技師会活動にご理解並びにご協力をよろしくお願いいたします。

本会創立の目的である、診療放射線学および診療放射線に関する技術の向上発展ならびに県民保健の維持発展に寄与するため以下の事業を行う。

1. 生涯学習の推進

安全で質の高い医療の提供を求める県民の負託に応えるためには、卒後教育が重要である。また、大きく変化していく診療放射線技術や社会情勢に対応すべく生涯学習の推進に努める。

2. フレッシュャーズセミナーの開催

社会人・医療人としての心構えや接遇についての教育を行うとともに、臨床現場ですぐに役に立つ放射線技術に関する研修を行う。

3. リーダー及びリーダー育成研修会

放射線部門のリーダーとして、いかにして優秀な人材を育てていくか、どのように行動することが県民や病院に貢献できるか等の研修会を開催する。また、次代を担うリーダーの育成に努めるとともに施設間の情報の交換を行う。

4. レントゲン週間に放射線展ならびに市民公開講座の開催

日本診療放射線技師会が推進する『国民から見える職業へ』『期待に応える専門職種として』のスローガンを達成するために、県民と直に接し、放射線技師の業務等を紹介するため、当会独自のイベントを開催する。また、市民公開講座や無料検診を行うことにより、より公益性を高めていく。

5. 特別企画の実施

公益性に富む一般講演会の開催を企画し、知識・素養も身につける。

6. 地域研修会の実施

6地域(鹿児島地域、南薩地域、北薩地域、霧島・始良地域、大隅地域、大島地域)研修会を理事会の企画において開催する。会員、非会員に限らず参加を可能とし、会員増加の促進を図る。

7. 学術大会の実施

学術大会は春季と秋季に開催している。春季は鹿児島市開催、秋季は各地域の持ち回りで企画・開催しているが、令和7年度は霧島・始良地域で開催する。各地域の持ち回りで開催することにより、地域間の協力体制の強化を図る。

8. 各研究会の実施

消化管研究会、CT 研究会、MRI 研究会、鹿児島乳腺画像研究会、鹿児島超音波研究会、鹿児島X線撮影研究会、鹿児島 AI 研究会を県の事業とし、研究会の充実を図るとともに非会員に対して入会の勧誘を積極的に行う。また、各研究会の活動が充実していくための助成を行い、CT 研究会、MRI 研究会に関しては各地域でも開催できるよう企画する。

9. 管理士部会による研修会開催

安全で質の高い医療を提供するためには、放射線管理・機器管理・画像情報管理を適正に行うことが不可欠である。これらの管理は、日々の業務の中で継続的に実践することが重要である。より効率的な管理を行ううえで必要な講習会を管理士部会主催で開催する。

10. 鹿児島さくら RT

業務改善を推進し、ライフワークバランスを目指した研修会等を開催する。

11. ホームページの活用促進

ホームページのリニューアルを行い、閲覧のしやすさや内容の充実を図り、会員、県民に積極的に情報を発信する。また各支部からも情報発信しやすいシステムを構築する。メールアドレスを公開し、公益社団法人として一般市民からの問い合わせに応じる体制作りを整える。

12. 各種イベント等への積極的参加・協力

他関係団体との共催である市民健康まつり等に積極的に参加し、他職種との連携を深めるとともに公益社団法人としての社会的役割を果たす。

13. 原子力防災支援

原子力災害時に適正かつ迅速に対応するために必要な人材育成を行う。また、県が開催する原子力防災訓練に参画し、放射線に関する専門家としての診療放射線技師の存在を誇示していく。

14. 地域保健協力事業

鹿児島市医師会より委託を受けた鹿児島市夜間救急センター放射線業務に対して、診療放射線技師を派遣する。業務の安全ならびに質の高い画像情報を提供するために必要な連絡調整会議や研修会を開催する。

15. その他の事業

環境測定事業	環境測定を放射線管理士部会の組織下に置き、事業の見直しを検討する。各施設からの依頼を受け、環境測定を実施するとともに、放射線施設や機器の安全性に関する指導を行う。
出版事業	会報を2回発行するとともに、緊急連絡が必要な場合にはニュースを発行する。また、会員からの投稿も積極的に勧誘し掲載する。
組織拡大事業	各種の行事に非会員も参加させ、入会の勧誘を行う。 技師養成校への定期的な訪問による勧誘を行う。
医療被ばく低減事業	被ばく線量測定を行い、DRLs2020 を基に撮影条件等の検討を行う。
関連団体との連携	「告示研修」、「業務拡大に伴う統一講習会」の実施など公益社団法人日本診療放射線技師会や他関連団体との協力事業を推進し、連携の強化を図る。
Web 配信事業	Web 配信による研修会、講演会等を開催する。
放射線教育事業	小学校・中学校で放射線に関する正しい理解と、医療に欠かせないものであることを紹介。放射線教育の更なる充実を図るため、放射線に関する専門家としての診療放射線技師の社会的役割を果たす。

正味財産増減計算予算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度予算	前年度予算	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
受取入会金	0	0	0
受取会費			
鹿児島県診療放射線技師会受取会費	4,480,000	4,340,000	140,000
九州地域放射線技師会受取会費	320,000	310,000	10,000
事業収益			
研修会会費	150,000	200,000	△ 50,000
広告料収益	450,000	750,000	△ 300,000
環境測定事業	50,000	100,000	△ 50,000
業務委託収益			
日本診療放射線技師会業務委託	100,000	100,000	0
受取負担金			
受取負担金	0	0	0
市医師会負担金	300,000	300,000	0
受取寄付金	0	0	0
雑収益			
受取利息	5,000	10,000	△ 5,000
雑収入	300,000	300,000	0
経常収益計	6,155,000	6,410,000	△ 255,000
(2) 経常費用			
(i) 事業費	6,550,000	5,790,000	760,000
広告宣伝費	400,000	400,000	0
旅費交通費	900,000	800,000	100,000
通信運搬費	650,000	600,000	50,000
消耗品費	300,000	250,000	50,000
修繕費	70,000	70,000	0
印刷製本費	1,000,000	1,000,000	0
光熱水料費	0	0	0
賃借料	200,000	250,000	△ 50,000
保険料	0	0	0
諸謝金	1,500,000	1,000,000	500,000
支払手数料	250,000	190,000	60,000
租税公課	70,000	70,000	0
会議費	210,000	210,000	0
減価償却費	400,000	400,000	0
福利厚生費	300,000	300,000	0
雑費	300,000	250,000	50,000
(ii) 管理費 (公益：共益)	1,927,880	1,907,880	20,000
広告宣伝費 (7：3)	100,000	100,000	0
会議費 (3：7)	100,000	100,000	0
旅費交通費 (5：5)	100,000	100,000	0
通信運搬費 (3：7)	220,000	200,000	20,000
消耗品費 (6：4)	100,000	100,000	0

修繕費	(6 : 4)	100,000	100,000	0
印刷製本費	(3 : 7)	0	0	0
光熱水料費	(6 : 4)	200,000	200,000	0
保険料	(6 : 4)	80,000	80,000	0
賃借料	(3 : 7)	0	0	0
諸謝金	(3 : 7)	0	0	0
支払手数料		50,000	50,000	0
租税公課	(6 : 4)	50,000	50,000	0
九州地域放射線技師会費負担金	(5 : 5)	320,000	320,000	0
減価償却費	(6 : 4)	407,880	407,880	0
雑費	(3 : 7)	100,000	100,000	0
経常費用計		8,477,880	7,697,880	780,000
当期経常増減額		△ 2,322,880	△ 1,287,880	△ 1,035,000
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計		0	0	0
(2) 経常外費用				0
経常外費用計				0
当期経常外増減額		0	0	0
当期一般正味財産増減額		△ 2,322,880	△ 1,287,880	△ 1,035,000
一般正味財産期首残高		25,127,140	26,415,020	△ 1,287,880
一般正味財産期末残高		22,804,260	25,127,140	△ 2,322,880
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額		0	0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0
指定正味財産期末残高		0	0	0
III 正味財産期末残高		22,804,260	25,127,140	△ 2,322,880

正 味 財 産 増 減 予 算 内 訳 書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公 益 事 業 会 計	法 人 会 計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
受取入会金	0	0	0
受取会費			
鹿児島県診療放射線技師会受取会費	2,240,000	2,240,000	4,480,000
九州地域放射線技師会受取会費	160,000	160,000	320,000
事業収益			
研修会会費	150,000	0	150,000
広告料収益	450,000	0	450,000
環境測定事業	50,000	0	50,000
業務委託収益			
日本診療放射線技師会業務委託	100,000		100,000
受取負担金			
受取負担金	0	0	0
市医師会負担金	300,000	0	300,000
受取寄付金	0	0	0
雑収益			
受取利息	5,000	0	5,000
雑収入	300,000	0	300,000
経常収益計	3,755,000	2,400,000	6,155,000
(2) 経常費用			
(i) 事業費			
広告宣伝費	400,000	0	400,000
旅費交通費	700,000	200,000	900,000
通信運搬費	550,000	100,000	650,000
消耗品費	250,000	50,000	300,000
修繕費	70,000	0	70,000
印刷製本費	1,000,000	0	1,000,000
光熱水料費	0	0	0
賃借料	150,000	50,000	200,000
保険料	0	0	0
諸謝金	1,100,000	400,000	1,500,000
支払手数料	200,000	50,000	250,000
租税公課	35,000	35,000	70,000
会議費	30,000	180,000	210,000
減価償却費	400,000	0	400,000
福利厚生費	300,000	0	300,000
雑費	200,000	100,000	300,000
(ii) 管理費			
(公益：共益)			
広告宣伝費	50,000	50,000	100,000
会議費	60,000	40,000	100,000
旅費交通費	60,000	40,000	100,000
通信運搬費	110,000	110,000	220,000
消耗品費	50,000	50,000	100,000
修繕費	50,000	50,000	100,000
印刷製本費	0	0	0

光熱水料費	(6 : 4)	120,000	80,000	200,000
保険料	(6 : 4)	48,000	32,000	80,000
賃借料	(3 : 7)	0	0	0
諸謝金	(3 : 7)	0	0	0
支払手数料	(6 : 4)	30,000	20,000	50,000
租税公課	(6 : 4)	30,000	20,000	50,000
九州地域放射線技師会費負担金	(5 : 5)	160,000	160,000	320,000
減価償却費	(6 : 4)	244,728	163,152	407,880
雑費	(5 : 5)	50,000	50,000	100,000
				0
経常費用計		6,447,728	2,030,152	8,477,880
				0
当期経常増減額		△ 2,692,728	369,848	△ 2,322,880
2. 経常外増減の部				0
(1) 経常外収益				0
経常外収益計		0	0	0
(2) 経常外費用				0
経常外費用計			0	0
当期経常外増減額		0	0	0
				0
当期一般正味財産増減額		△ 2,692,728	369,848	△ 2,322,880
他会計振替額				0
一般正味財産期首残高				25,127,140
一般正味財産期末残高				22,804,260
Ⅱ 指定正味財産増減の部				0
当期指定正味財産増減額		0	0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0
指定正味財産期末残高		0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高		0	0	22,804,260

